

令和6度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		国語	科目名		論理国語				対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書		「探求論理国語」（桐原書店）							教科 担当	A組：伊藤 景一郎 B組：伊藤 景一郎 C組：伊藤 景一郎			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「漢字マイスター」（第一学習社） 「近代小説四選」（桐原書店） 「現代文アチーブ2」（桐原書店） 「常用国語便覧」（浜島書店）													
教科の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。													
科目の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる力を養う。													
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		領域		配当 時間	評価規準	評価方法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週）	《〈知〉のコミュニティへ》 【知】本文中の語句の使い分けを把握する。 【思】筆者のものの見方や感じ方を理解する。 【学】自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。他者との関わり合い方を考える。	「気持ちよさという罪」村田沙耶香 文章を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 筆者の言う「多様性を認める」ことについて、自らの経験に照らしながら考察を深める。 「課題発見」「課題解決」				●	3	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思】読：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	定期考査	●	●	●		
										提出物		●	●		
		《評論Ⅰ》 【思】論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 【学】「共感」「ともに生きる」という観点から人間の存在についての思索を深める。	「いのちは誰のものか?」 鷲田清一 「〈知〉の深化 晴れた空の下で」 江國香織 評論の基本的な読み方を習得する。 具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ヒトの「認知的共感」が社会にもたらす意義について、自分の考えをまとめる。 評論の基本的な読み方を習得する。 論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。 「課題発見」「課題解決」				●	9	【思】評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。ヒトの社会性と「共感」について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。関連する文章を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。 【主】本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めるとともに話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。本文の内容を踏まえて「いのちは誰のものか」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●		
										提出物		●	●		
										小テスト	●				
		1 学期中間考査							1						
		《論文を読む》 【知】論証、学術的な文章に必要な語彙力をつける。 【思】構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉える。 【学】小説を読み解く視点を広げる。	「変身に伴う快楽と恐れー「山月記」を通じて」 宮原浩二郎 論文の基本的な読み方を習得する。 論理の展開を捉え、変身についての筆者の考えを把握する。 論文の内容をきっかけとして、小説「山月記」に関心を抱く。 「課題発見」「課題解決」				●	9	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	定期考査	●	●	●		
										提出物		●	●		
										小テスト	●				
		《実社会》 【知】実用的な文章の読み解き方を習得する。 【思】実社会で役立つ文章作成力を養成する。 【学】実社会との関わりを実感をもって捉える。	「議事録を作る」 「ゲームのルールをまとめる」 実用的な文章の基本的な読み方を習得する。 実際に「議事録」を作成したり、規約の内容を読み取ることを通して、情報の重要度や正確な読み取り方を身に付ける。 実用的な文章の基本的な読み方を習得する。 実際に「ゲームのルール」を作成することを通して、さまざまな観点から概要を把握する力と、誤解されないようなわかりやすい表現方法を身に付ける。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	3	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを吟味し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、自分の表現に役立てている。 【主】実用文の読み取りの手順を踏まえて、読み手を意識しながら議事録をわかりやすく簡潔にまとめようとしている。実用文の読み取りの手順を踏まえて、読み手を意識しながらゲームのルールをわかりやすく簡潔にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●		
										提出物		●	●		
										小テスト	●				
		1 学期期末考査							1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	《評論Ⅱ》 【知】文章の構成や論の展開、語彙を正確にとらえる。 【思】評論文の内容を的確に捉える。 【学】人間の言葉の可能性について、幅広い視野から考えを深める。	動物の信号と人間の言語 行動としての話し言葉 二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方を習得する。 「動物の信号」との比較を通して、「人間の言語」の特徴を理解する。 「言語」の働きについて考え、自らが豊かな「言語」の使い手となる意識を持つ。 評論の基本的な読み方を習得する。 演劇における台詞を通して、話し言葉の特徴と力を理解する。 行動としての話し言葉という意味を捉え、自分自身の話し言葉を充実させる 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを十分に理解し、その知識を活用している。効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。 【主】本文の内容を踏まえて「言葉の働き」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。本文内容の正しい理解を踏まえて、つうの台詞に込められた思いや意志についての自分の解釈を、わかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
		《問いを生む》 【知】評論の基本的な読み方を習得する。 【思】現代に求められる「書く」「読む」力について理解を深める。 【学】「価値のある情報発信」について考える。	世界の見え方を変える 宇野常寛 「書く」とこと「読む」ことの往復運動の中で新たな問いが生まれ、世界の見え方が変わるという筆者の主張を踏まえ、「書く」ことについての基本的な姿勢について考える。 「課題発見」「課題解決」			●	3	【知】効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 【読】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】本文の内容を踏まえて「価値の転倒」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
		《「書く」―問いを生む》 【知】「価値のある情報発信」を意識し、対象を「読む」方法を習得する。 【思】立場、視点の違いによる情報を整理し理解する。 【学】新たな問いを生むことの意義について考える。	「書く」ことへの挑戦―問いを生む 「対象」を読み、新たな「問い」を設定する過程を身に付け、「書く」ことの基本について理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	3	【知】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 【思】書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集し、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決め、問いたいことや言いたいことを明確に伝えている。 【主】対象を「読む」方法についての正しい理解をもとに、積極的にさまざまな角度からの情報を収集し、世界の見え方を変えるような新たな問いを設定しようとしている。	定期考査	●	●	●
		2学期中間考査						1				
		《論文を読む》 【知】論証に必要な語彙力をつける。 【思】文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉える。 【学】小説を読み解く視点を広げる。	淋しい人間―「こころ」を通じて 山崎正和 論文の基本的な読み方を習得する。 論理の展開を捉え、「こころ」における「先生」の淋しさの本質について理解する。 論文の内容をきっかけとして、小説「こころ」に関心を抱く。 「課題発見」「課題解決」			●	8	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		《評論Ⅲ》 【知】文章の構成や論の展開を整理する。 【思】評論文の内容を的確に捉えるとともに、異文化理解と自然との共生の困難さについて考える。 【学】参考「〈知〉の深化」を通して、自然と人間の関係を見つめ直し、思索を深める。	木を伐る人／植える人 赤坂憲雄 ・二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方を習得する。 ・「自然破壊」と「自然保護」、その二つの関連性などについての理解を深める。 ・これからの時代における「人と自然をつなぐ」ことについて、自分自身の考えを深める。 「課題発見」「課題解決」			●	4	【知】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。 【思】新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 【主】本文内容の正しい理解を踏まえて、「知恵や技術の世界観」が近代の訪れとともに失われていった具体例についてのグループ内の調べ学習に積極的に参加し、レポートにわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		2学期期末考査						1				

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	《評論Ⅳ》 【知】文章の構成や論の展開を読む語彙力をつける。 【思】評論文の内容を的確に捉える。 【学】進歩する技術とともに人間のありようについての自らの考えをまとめる。	ロボットは心を持つか 黒崎政男 評論の読み方を習得する。 「ロボットの心」についての研究が、「心とは何か」という哲学的な問題 に直結するという筆者の主要な見解を理解する。 「そもそも心とは何か」について、自分なりの考えをまとめる。 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 【主】本文の内容を踏まえて「心とは 何か」について話し合い、自分の 考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		《評論Ⅴ》 【知】文章の構成や論の展開を把握する。 【思】評論文の内容を的確に捉える。 【学】人類学・社会科学の知見を基に、共同体についての考えや、「民主主義」「自由」「近代化」などの普遍的な主題への理解を深め、日本の近代化の問題点を現代の課題として捉え直す。	「である」ことと「する」こと 丸山真男 評論の読み方を習得する。 長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 「民主主義」「自由」「近代化」など、普遍的なテーマへの理解を深める。 日本の近代化の特質とその問題点を論じた内容を、現代の課題として捉え直す。 「課題発見」「課題解決」			●	7	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】本文の内容を踏まえて、「民主 主義」や「自由」について考え、現代日本に必要なことはどういうことかについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		《実社会》 【知】実用的な文章の意義と読み解き方を習得する。 【思】実社会でも役立つ文章作成力を養成する。 【学】実社会との関わりを実感をもって捉える。	観光地紹介を書く 実用的な文章の基本的な読み方を習得する。 限られたスペースの中で、伝えたい 情報を整理し、正確に伝わる文章の 書き方を身につける。 レイアウトを工夫し、読み手を引き付ける紹介文の作成の仕方を身につける。 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	4	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】様々な観点から情報を収集し、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決め、伝えたいことを明確に伝えている。 【主】魅力的な観光地紹介文を作成するために、積極的に情報を収集・整理したり、読み手を引きつける文章表現やレイアウトに工夫を凝らしたりしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		3学期期末考査						1				

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		国語	科目名	古典探究			対象 学年	2 年	単位数	3単位	観点別評価							
使用教科書 「精選古典探究」（第一学習社）																		
補助教材 「巻頭増補版 常用国語便覧」（浜島書店） 「完成古典 古文・漢文」（尚文出版） 「体系古典文法 九訂版」（数研出版） 「三訂版 古文単語330」（いいずな書店） 「三訂版 体系漢文」（数研出版）																		
教科の目標		【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																
科目の目標		【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。																
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		領域 話 書 読		配 当 時 間	評価規準			評価方法		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
主な学習内容と授業時数	1学期（1・3週）	《文法》 【知】動詞・形容詞・形容動詞の特徴について正確に理解する。 【思】文法の知識を活用して、文章の内容を的確に読み取る。 【学】古典文法について理解を深めようとする。	用言・助動詞等の古典文法の復習 「課題発見」「課題解決」				●	5	【知】動詞・形容詞・形容動詞の特徴について正確に理解している。 【思】文法の知識を活用して、文章の内容を的確に読み取ることができる。 【主】古典文法について理解を深めようとしている。			定期考査				●	●	●
									提出物			●				●		
		《物語》 【知】脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳する。 【思】登場人物の行動と心理の推移を理解している。作者の感想が示された部分を的確に理解する。 【学】『伊勢物語』全体の構成・内容について、調べたり発表したりする。	『伊勢物語』 「初冠」「渚の院」 歌物語を読んで、平安時代の物語文学に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 歌物語における和歌の役割を理解する。 「課題発見」「課題解決」				●	14	【知】脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】登場人物の行動と心理の推移を理解している。作者の感想が示された部分を的確に理解している。 【主】『伊勢物語』全体の構成・内容について、調べたり発表したりしている。			定期考査				●	●	●
									提出物			●				●		
								1				小テスト				●		
		1学期中間考査																
		《日記》 【知】平安時代の日記文学について主要な作品や作者などを調べたり発表したりする。 【思】作者の物語への思いの深まりや惜別の寂しさなどを的確に捉えている。物語に対する少女時代の作者の気持ちの変化、晩年における自己批評の内容を的確に捉えている。 【学】女流日記文学と「更級日記」について、文学史的知識を知ろうとする。	『更級日記』『門出』 日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解する。文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高める。 「課題発見」「課題解決」				●	8	【知】平安時代の日記文学について主要な作品や作者などを調べたり発表したりしている。 【思】作者の物語への思いの深まりや惜別の寂しさなどを的確に捉えている。物語に対する少女時代の作者の気持ちの変化、晩年における自己批評の内容を的確に捉えている。 【主】女流日記文学と「更級日記」について、文学史的知識を知ろうとしている。			定期考査				●	●	●
									提出物			●				●		
									小テスト			●						
		《史伝》 【知】脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳する。文章の展開、内容のおもしろさを理解する。 【思】項王側と沛公側とに分けて登場人物を的確に捉え、各人の役割と言動、心理を理解する。 【学】比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとする。	『鴻門の会』 歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝を読んで、その魅力を味わう。また、長文の漢文を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 「課題発見」「課題解決」				●	10	【知】脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。読文章の展開、内容のおもしろさを理解している。 【思】項王側と沛公側とに分けて登場人物を的確に捉え、各人の役割と言動、心理を理解している。 【主】比喩的な表現の知識を活用して課題に取り組み、より正確な知識の定着を図ろうとしている。			定期考査				●	●	●
									提出物			●				●		
									小テスト			●						
		1学期期末考査				1												

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】				
				話・聞	書	読									
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 3 週）	《歴史物語》 【知】敬語「侍り」、「候ふ」、「呼応」の副詞などの文法事項を理解している。兼家・公任・道長など主要な登場人物について知識を持っている。読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳する。 【思】「大鏡」の語りの特色、構成や成り立ちについて理解する。 【学】本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとする。	『大鏡』『弓争ひ』 「花山院の出家」 「道長の豪胆」 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 「課題発見」「課題解決」			●	14	【知】敬語「侍り」、「候ふ」、「呼応」の副詞などの文法事項を理解している。兼家・公任・道長など主要な登場人物について知識を持っている。読脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】「大鏡」の語りの特色、構成や成り立ちについて理解している。 【主】本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、作者の意図や物事の捉え方について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	●	●	●			
		《史伝》 【知】人物評という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用する。 【思】「鴻門之会」との比較など、作品を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめる。 【主】本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、項羽と劉邦について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとする。	「史記」 比較で深める 「項羽本紀」 「高祖本紀」 史記書かれた人物論を読んで、項羽と劉邦の人物像に迫る。 「鴻門之会」との比較を通して、解釈の広がりを感じる。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	5	【知】人物評という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】「鴻門之会」との比較など、作品を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめる。 【主】本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、項羽と劉邦について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめようとしている。	定期考査	●	●	●		
		2学期中間考査						1							
		《史伝》 【知】脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。文章の展開、内容のおもしろさを理解する。 【思】項王側と沛公側とに分けて登場人物を的確に捉え、各人の役割と言動、心理を理解する。 【学】「四面楚歌」という言葉について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとし、短文を作る。	「四面楚歌」 歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力味わう。 長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 項王の詩を読み味わう。 「四面楚歌」という言葉の意味と由来を理解する。 「課題発見」「課題解決」				●	9	【知】脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。文章の展開、内容のおもしろさを理解している。 【思】項王側と沛公側とに分けて登場人物を的確に捉え、各人の役割と言動、心理を理解している。 【主】「四面楚歌」という言葉について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとし、短文を作っている。	定期考査	●	●	●		
		《漢詩》 【知】各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解する。 【思】脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉える。 【学】律詩の鑑賞を通じて、その内容だけでなく、言葉の響きやリズム、修辞の特色などについて理解したことを的確にまとめようとする。	「絶句」「律詩」 様々な形式の詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。 詩句に込められた作者や登場人物の心情を把握する。 比喻表現を的確に捉え内容を理解する。 古体詩と近体詩の違いについて理解する。 「課題発見」「課題解決」				●	9	【知】各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 【思】脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。それぞれの詩に表現された心情や情景を的確に捉えている。 【主】律詩の鑑賞を通じて、その内容だけでなく、言葉の響きやリズム、修辞の特色などについて理解したことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●		
		2学期期末考査						1							
		主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	《物語》 【知】本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解する。 【思】「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学】内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとする。	『源氏物語』 「光る君の誕生」「若紫との出会い」 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 「課題発見」「課題解決」			●	14	【知】本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している。 【思】「源氏物語」の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、「源氏物語」の表現上の特徴について多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	定期考査	●	●	●	
				《思想》 【知】諸子百家における荀子の位置づけについて、基本的な知識を持つ。 【思】孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を比較し、人間の本性に対する認識の違いを理解する。 【思】「性善」告子の主張とそれに対する孟子の反論の要点を的確に捉える。 【学】諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べ。	「荀子」「孟子」「老子」「韓非子」 読解を通して、人間や社会のあり方に対する儒家の主張の概要を理解する。 文章の特色を理解して読み味わう。 当時の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	12	【知】諸子百家における荀子の位置づけについて、基本的な知識を持っている。 【思】孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を比較し、人間の本性に対する認識の違いを理解している。 【思】「性善」告子の主張とそれに対する孟子の反論の要点を的確に捉えている。 【主】諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心を持ち、調べている。	定期考査	●	●	●
				3学期期末考査						1					

教科		地理歴史	科目名	地理探究	対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書					教科 担当	A組:佐竹 綾 B組:佐竹 綾			① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
補助教材											
教科の 目標											
【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
科目の 目標											
【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の特徴や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようすることの大切さについての自覚などを深める。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容	配当 時間	評価規準		評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週 ）	自然環境 【知】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。		地球環境と人間 地形(地形の成因と地球表面の起伏,地球規模の大地形,河川流域と海岸にみられる小地形,そのほかの特徴的な小地形) 気候(気候の成り立ち,気候と生態系,世界の気候区分,さまざまな気候帯,気候変動と異常気象) 日本の自然環境(日本の地形,日本の気候,開発に伴う災害と防災・減災の取り組み) 地球環境問題(地球環境問題とは,さまざまな地球環境問題,地球環境問題の解決に向けた取り組み) 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	【知】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表			●
		1 学期中間考査			1						
		資源と産業 【知】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。		農林水産業(農業の発達と分布,農業の地域区分,現代世界の農業の現状と課題,日本の農業の現状と課題,世界と日本の林業,世界と日本の水産業) 食料問題(世界の食料問題,日本の食料問題) エネルギー・鉱産資源(エネルギー資源の種類と利用,化石燃料の分布と利用,電力の利用,鉱産資源の種類と利用) 資源・エネルギー問題(資源・エネルギーをめぐる課題,日本の資源・エネルギー問題) 工業(工業の発達と種類,工業の立地,世界の工業地域,現代世界の工業の現状と課題,工業の知識産業化とスタートアップ企業,日本の工業) 第3次産業(経済発展と第3次産業,商業の現状と変化,商業以外のさまざまな第3次産業) 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	【知】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表			●
								提出物		●	●
		1 学期期末考査			1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 ・ 3 週 ）	交通・通信と観光、貿易 【知】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする事と。	交通・通信(世界を結ぶ交通, 日本交通の特徴, 情報通信の発達) 観光(余暇の拡大と観光産業, 日本観光とその変化) 貿易と経済圏(世界の貿易と地域間格差, 貿易の自由化と経済連携, 日本貿易) 「課題発見」「課題解決」「表現」	4	【知】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	発表			●
		人口、村落・都市 【知】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする事と。	人口(世界の人口, 人口の移動) 人口問題(世界の人口問題, 日本人口問題) 村落と都市(集落の成り立ち, 村落の形態と機能, 都市の成立と形態・機能, 都市圏の拡大と都市の構造) 都市・居住問題(発展途上国の都市・居住問題, 先進国の都市・居住問題, 日本都市・居住問題) 「課題発見」「課題解決」「表現」	4	【知】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	発表			●
		生活文化、民族・宗教 【知】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする事と。	衣食住(世界の衣服と食生活, 世界の住居と衣食住の画一化) 民族・宗教と民族問題(世界の民族・言語, 世界の宗教, さまざまな民族問題, 多文化の共生に向けた取り組み) 国家の領域と領土問題(現代世界と国家, 領土問題と解決への取り組み, 日本領域と領土をめぐる問題) 「課題発見」「課題解決」「表現」	4	【知】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	発表			●
		2 学期中間考査		1					
		現代世界の地域区分 【知】世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解すること。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけること。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解すること。 【思】世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする事と。現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする事と。	地域区分(地域区分の意義と指標) 地域の考察方法(地誌的な考察方法) 中国-項目ごとに整理して考察(中国の政治体制と多様な民族, 中国の食生活と農業・水産業, 中国の工業化と海外進出, 経済発展に伴うさまざまな課題) 韓国-項目ごとに整理して考察(韓国の歴史と生活文化, 産業の発展と生活の変化) ASEAN諸国-項目ごとに整理して考察(ASEAN諸国の歴史と文化・民族, ASEAN諸国の農業とその変化, ASEAN諸国の工業とその発展, ASEANの変化と課題) インド-経済成長に関連づけて考察(急速な経済成長を支えた産業の発展, 増加する人口と農村の変化, インド社会の変化と経済格差の拡大) 西アジアと中央アジア-地域を比較して考察(イスラームと人々の生活文化, 交易の歴史と乾燥地域の農業, 豊富な資源を生かして進められる開発) 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	【知】世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 【思】世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	発表			●
		2 学期期末考査		1					

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	現代世界の諸地域 【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解すること。現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解すること。 【思】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現すること。 【学】持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする事	北アフリカとサハラ以南アフリカ-地域を比較して考察（歴史的な背景によって形成された多様な文化, 他地域との結びつきと人々の生活の変化, 一次産品への依存とそれがもたらす課題） EU諸国-項目ごとに整理して考察（EUの成り立ちと結びつき, ヨーロッパの多様な農業と政策, 移り変わるEUの工業, EU拡大による影響と課題） ロシア-国家体制の変化に関連づけて考察（ロシアの成り立ちと体制変化, 体制変化が産業にもたらした影響と課題） アメリカ合衆国-項目ごとに整理して考察（移民国家としてのアメリカ合衆国の発展, 世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国, 進展する科学技術と産業, 多民族社会と移民増加に伴う課題） ラテンアメリカ-歴史的背景と関連づけて考察（ヨーロッパの影響が強い社会, 大土地所有制と農業の変化, 工業化の進展と経済発展） オーストラリアとニュージーランド-国を比較して考察（移民の歴史と多文化社会, 自然の恵みを生かして発達した産業, 強まるアジア・太平洋圏との結びつき） 将来の国土の在り方（日本の強みと地理的な課題） 持続可能な日本の国土像の探究（課題の把握, 課題の追究, 課題の解決） 「課題発見」「課題解決」「表現」	17	【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 【思】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主】持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	発表			●
						提出物		●	●
		3 学期期末考查		1					

教科		地理歴史	科目名	日本史探究	対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）				教科 担当	A組：松浦 大樹 C組：松浦 大樹						
補助教材	「改訂版日本史用語集」（山川出版社） 「新詳日本史」（浜島書店） 「詳録新日本史史料集成」（第一学習社） 「日本史重要語句Check List」（啓隆社）											
教科の目標		【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、より社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				知識・技能	思考・判断・表現					
科目の目標		【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。										
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容	1 学 期	文化の始まり（日本文化のあけぼの） 【知】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解させる。 【思】黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察させる。 【学】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察させ、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにさせる。	人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、堅穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。 「課題発見」		2	【知】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思】黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。		定期考査	●	●	●	
						2	提出物			●	●	
							小テスト	●				
		農耕社会の成立（日本文化のあけぼの） 【知】水稻耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけさせる。 【思】小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝など文献資料にもとづき国内外の情勢を踏まえて多角的に考察させる。 【学】日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察させ、弥生文化の特色を明らかにさせる。	大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 「課題発見」「課題解決」		2	【知】水稻耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思】小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。		定期考査	●	●	●	
						2	提出物			●	●	
							小テスト	●				
		古墳文化の展開（古墳とヤマト政権） 【知】国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解させる。 【思】中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 【学】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察させ、古墳文化の展開とのつながりを見出させる。	地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。 「課題発見」		2	【知】国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思】中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。		定期考査	●	●	●	
							提出物			●	●	
							小テスト	●				
		飛鳥の朝廷（古墳とヤマト政権） 【知】推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解させる。 【思】仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現させる。 【学】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究させる。	ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。 「課題発見」「課題解決」		2	【知】推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 【思】仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。		定期考査	●	●	●	
							提出物			●	●	
							小テスト	●				
		律令国家への道（律令国家の形成） 【知】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解させる。 【思】天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察させる。 【学】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにさせる。	律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 律令にもとづく国内統治体制について理解する。 「課題発見」		2	【知】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思】天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。		定期考査	●	●	●	
							提出物			●	●	
							小テスト	●				
		平城京の時代（律令国家の形成） 【知】平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解させる。 【思】文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察させる。 【学】平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究させる。	律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。 「課題発見」		1	【知】平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 【思】文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 【主】平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。		定期考査	●	●	●	
							提出物			●	●	
							小テスト	●				
		律令国家の文化（律令国家の形成） 【知】隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解させる。 【思】盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察させる。 【学】隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出させる。	律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 「課題発見」		1	【知】隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 【思】盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 【主】隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。		定期考査	●	●	●	
							提出物			●	●	
							小テスト	●				
				1 学期中間考査		1						
		律令国家の変容（律令国家の形成） 【知】東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解させる。 【思】蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察させる。 【学】東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究させる。	平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。 「課題発見」「課題解決」		1	【知】東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 【思】蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 【主】東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。		定期考査	●	●	●	
							提出物			●	●	
							小テスト	●				

授 業 時 数	1 3 週	摂関政治（貴族政治の展開） 【知】藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解させる。 【思】奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察させる。 【学】唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにさせる。	藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。 「課題発見」	1	【知】藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思】奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主】唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		国風文化（貴族政治の展開） 【知】大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解させる。 【思】国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察させる。 【学】平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出させる。	大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。 「課題発見」	1	【知】大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 【思】国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 【主】平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		地方政治の展開と武士（貴族政治の展開） 【知】地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解させる。 【思】文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察させる。 【学】国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにさせる。	律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。 「課題発見」「課題解決」	2	【知】地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 【思】文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 【主】国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		院政の始まり（院政と武士の躍進） 【知】貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解させる。 【思】武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現させる。 【学】中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究させる。	院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。 「課題発見」	1	【知】貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思】武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 【主】中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		院政と平氏政権（院政と武士の躍進） 【知】平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解させる。 【思】武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察させる。 【学】古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究させる。	政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 「課題発見」「課題解決」	2	【知】平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 【思】武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		鎌倉幕府の成立（武家政権の成立） 【知】諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解させる。 【思】幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現させる。 【学】鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出させる。	鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。 「課題発見」	1	【知】諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 【思】幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 【主】鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		武士の社会（武家政権の成立） 【知】承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解させる。 【思】武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察させる。 【学】公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究させる。	承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。 「課題発見」	2	【知】承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思】武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 【主】公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		モンゴル襲来と幕府の衰退、鎌倉文化（武家政権の成立） 1学期振り返り 【知】宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来による国際的な背景や国内政治への影響について理解させる。 【思】鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察しさせる。 【学】宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究させる。	モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。 庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	1	【知】宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来による国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 【思】鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 提出物 発表	●	●	●
		1学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
		室町幕府の成立（武家政権の成長） 【知】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解させる。 【思】南北朝の動乱などにみられる地域政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出させる。	南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 「課題発見」	2	【知】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 【思】南北朝の動乱などにみられる地域政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		幕府の衰退と庶民の台頭（武家政権の成長） 【知】諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解させる。 【思】自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究させる。	庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 「課題発見」	2	【知】諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 【思】自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●
		室町文化（武家政権の成長） 【知】経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解させる。 【思】室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現させる。 【学】室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出させる。	武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。 庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 「課題発見」	1	【知】経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 【思】室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主】室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査 提出物 小テスト	●	●	●

2 学 期 （ 1 ・ 3 週）	戦国大名の登場（武家政権の成長） 【知】守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解させる。 【思】戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現させる。 【学】15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究させる。	応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。 「課題発見」「課題解決」	1	【知】守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 【思】戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 【主】15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	織豊政権（近世の幕開け） 【知】村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解させる。 【思】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察させる。 【学】時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。	大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 「課題発見」	2	【知】村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	桃山文化（近世の幕開け） 【知】桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 【思】豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出させる。	新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 「課題発見」「課題解決」	1	【知】桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 【思】豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	幕藩体制の成立（幕藩体制の成立と展開） 【知】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解させる。 【思】織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】幕藩体制が確立する過程における様々な面期について考察し、主体的に追究させる。	江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 「課題発見」	2	【知】織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 【思】織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】幕藩体制が確立する過程における様々な面期について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	幕藩社会の構造（幕藩体制の成立と展開） 【知】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解させる。 【思】新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現させる。 【学】織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出させる。	幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。 「課題発見」	1	【知】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 【思】新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。 【主】織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	2学期中間考査		1					
	幕政の安定（幕藩体制の成立と展開） 【知】諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解させる。 【思】戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究させる。	17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。 「課題発見」	2	【知】諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 【思】戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	経済の発展（幕藩体制の成立と展開） 【知】産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解させる。 【思】陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現させる。 【学】近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにさせる。	幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。 「課題発見」	2	【知】産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 【思】陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【主】近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	元禄文化（幕藩体制の成立と展開） 【知】都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけさせる。 【思】近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察させる。 【学】幕藩体制が安定していく中で、経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにさせる。	経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。 「課題発見」「課題解決」	1	【知】都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思】近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】幕藩体制が安定していく中で、経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	幕政の改革（幕藩体制の動揺） 【知】幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解させる。 【思】商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現させる。 【学】幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究させる。	農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。 「課題発見」	2	【知】幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 【思】商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 【主】幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	宝暦・天明期の文化（幕藩体制の動揺） 【知】幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解させる。 【思】幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究させる。	江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。 「課題発見」	1	【知】幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 【思】幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		
	幕府の衰退と近代への道（幕藩体制の動揺） 【知】列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解させる。 【思】国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現させる。 【学】飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究させる。	欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。 「課題発見」	2	【知】列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 【思】国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主】飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
					提出物		●	●
					小テスト	●		

主な学習内容と授業時数		化政文化（幕藩体制の動揺）、2学期の振り返り 【知】政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解させる。 【思】近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出させる。	化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	2	【知】政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 【思】近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。	定期考査	●	●	●
						提出物			●
						発表			●
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
	3学期（9週）	開国と幕末の動乱（近世から近代へ） 【知】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解させる。 【思】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究させる。	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。 「課題発見」	2	【知】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		幕府の滅亡と新政府の発足（近世から近代へ） 【知】政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解させる。 【思】日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現させる。 【学】幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出させる。	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 「課題発見」「課題解決」	1	【知】政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 【思】日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 【主】幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期考査	●	●	●
		明治維新と富国強兵（近代国家の成立） 【知】明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解させる。 【思】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における面画についての課題を見出し、主体的に追究させる。	明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ②欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。 明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。 「課題発見」	3	【知】明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における面画についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		立憲国家の成立（近代国家の成立） 【知】諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解させる。 【思】国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究させる。	政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。 「課題発見」「課題解決」	2	【知】諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 【思】国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		日清・日露戦争と国際関係（近代国家の展開） 【知】日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解させる。 【思】議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したことと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察させる。 【学】対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究させる。	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 「課題発見」	2	【知】日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思】議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主】対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		第一次世界大戦と日本（近代国家の展開） 【知】第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から情報を読み取り、理解させる。 【思】大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察させる。 【学】対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出させる。	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 「課題発見」	2	【知】第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思】大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査	●	●	●
		ワシントン体制（近代国家の展開） 【知】ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解させる。 【思】大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究させる。	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。 民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。 「課題発見」「課題解決」	2	【知】ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 【思】大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		近代産業の発達（近代の産業と生活） 【知】産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解させる。 【思】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究させる。	日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 近代産業の発展にともなう社会問題（労働問題・公害問題）の発生と政府の対応について考察する。 「課題発見」	1	【知】産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		近代文化の発達（近代の産業と生活） 【知】国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけさせる。 【思】学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現させる。 【学】明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究させる。	伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。 「課題発見」	1	【知】国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思】学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 【主】明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
		市民生活の変容と大衆文化（近代の産業と生活） 3学期振り返り 【知】学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解させる。 【思】都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究させる。	労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。 大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	1	【知】学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 【思】都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査	●	●	●
			3学期期末考査	1		発表			●

教科		地理歴史	科目名		世界史探究	対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		「詳説世界史」（山川出版社）				教科 担当	A組：森川 真幸 B組：森川 真幸 C組：森川 真幸			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院） 「世界史用語集」（山川出版社） 「詳説世界史ノート」（山川出版社） 「世界史重要語句チェックリスト」（啓隆社）											
教科の目標		【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
科目の目標		【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週 ）	文明の成立と古代文明の特質 【知】世界4大文明が成立した背景を理解させる。 【思】世界四大文明に共通点と相違点を考察させる。 【学】農業の発達によって階級が生まれ、国家が誕生していくことを明らかにさせる。		世界4大文明が成立した背景を理解する。 世界四大文明に共通点と相違点を考察させる。 「課題発見」		8	【知】世界4大文明が成立した背景について理解している。 【思】世界四大文明に共通点と相違点を考察し、表現している。 【主】農業の発達によって階級が生まれ、国家が誕生している特色を明らかにしようとしている。		定期考査		●	●	●
									提出物			●	●
		中央ユーラシアと東アジア世界 【知】東アジア文化圏について理解を深める。 【思】冊封朝貢体制について資料を活用しながら多角的に考察させる。 【学】東アジアに成立した文化圏について明らかにさせる。		東アジア文化圏について理解を深める。 冊封体制の成立過程を日本などの東アジア世界と関連づけて考察する。 「課題発見」		4	【知】東アジア文化圏について自身の言葉で表現することができる。。 【思】冊封朝貢体制について資料を活用しながら多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】東アジアに成立した文化圏の特色を明らかにしようとしている。		定期考査		●	●	●
									提出物			●	●
		1 学期中間考査			1								
		南アジア世界と東南アジア世界の成立 【知】南アジアや東南アジアの地理的な特色について、ローマ帝国との関係などに着目して理解させる。 【思】インドにおいて様々な宗教が誕生したのはなぜか、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現させる。 【学】東南アジアの歴史の展開についての課題を主体的に追究させる。		南アジア世界が活発化していく背景について理解する。 インドにおいて様々な宗教が誕生したのはなぜかを考察する。 東南アジアの歴史の展開についての課題を設定し主体的に取り組む。 「課題発見」「課題解決」「表現」		9	【知】南アジアや東南アジアの地理的な特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 【思】インドにおいて様々な宗教が誕生したことについて、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】中東南アジアの歴史の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。		定期考査		●	●	●
									提出物			●	●
		西アジアと地中海周辺の世界形成 【知】ローマ帝国の成立過程などを理解させる。 【思】ローマ帝国拡大の過程やキリスト教の誕生について資料をもとに考察させる 【学】民主政治の成立過程と現代社会の民主政のつながりを明らかにさせる。		ローマ帝国が築き上げた地中海文明圏について理解を深める。 キリスト教の成立とローマ帝国との関係について考察する。 「課題発見」「課題解決」「表現」		3	【知】ローマ帝国の成立過程を理解している。 【思】ローマ帝国拡大の過程やキリスト教の誕生について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】中民主政治の成立過程と現代社会の民主政のつながりを主体的に追究しようとしている。		定期考査		●	●	●
									提出物			●	●
		1 学期期末考査			1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知】イスラームの成立過程などを理解させる。 【思】なぜアラブ帝国が成立したのかについて資料をもとに考察させる 【学】現代のイスラーム教徒が抱える問題について資料を活用しながら明らかにさせる。	イスラームの成立過程について理解を深める。 なぜアラブ帝国が成立したのかについて考察する。 「課題発見」「課題解決」	6	【知】イスラームの成立過程を理解している。 【思】イスラーム帝国拡大について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】現代のイスラーム教徒が抱える問題について主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		ヨーロッパ世界の変容と展開 【知】地中海世界がイスラーム、東ヨーロッパ、西ヨーロッパ世界に分裂したことを理解させる。 【思】中世西ヨーロッパと東ヨーロッパを対比させて共通点や相違点を考察させる 【学】中世ヨーロッパ文化についてイスラームとのかかわりに留意しながら明らかにさせる。	中海世界がイスラーム、東ヨーロッパ、西ヨーロッパ世界に分裂したことについて理解を深める。 中世西ヨーロッパと東ヨーロッパを対比させて共通点や相違点を考察する。 「課題発見」「課題解決」	6	【知】地中海世界がイスラーム、東ヨーロッパ、西ヨーロッパ世界に分裂していく過程を理解している。 【思】中世西ヨーロッパと東ヨーロッパを対比させて共通点や相違点を考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】中世ヨーロッパ文化についてイスラームとのかかわりについて主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		2 学期中間考查		1					
		東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知】モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸が一つに結びついたことを理解させる。 【思】大航海時代以前にアメリカ大陸をのぞいた広範囲な交易圏が成立していたことを考察させる。 【学】モンゴル帝国によってもたらされた東西間の交易についてに留意しながら明らかにさせる。	モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸が一つに結びついたことをを深める。 大航海時代以前にアメリカ大陸をのぞいた広範囲な交易圏が成立していたことを考察する。 「課題発見」「課題解決」	4	【知】モンゴル帝国の成立によってユーラシア大陸が一つに結びついたことを理解している。 【思】大航海時代以前にアメリカ大陸をのぞいた広範囲な交易圏が成立していたことを考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主】モンゴル帝国によってもたらされた東西間の交易について主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		アジア諸帝国の繁栄 【知】大航海時代以前はアジアが世界の歴史の中心で繁栄していたことを理解させる。 【思】帝国の統治の仕組みについて、理解し多角的に考察させる。 【学】現代の中国が抱える問題の始まりについて明らかにさせる。	大航海時代以前はアジアが世界の歴史の中心で繁栄していたことについて理解を深める。 帝国の統治の仕組みについて考察する。 「課題発見」「課題解決」	4	【知】ヨーロッパとアジアを対比し、当時の経済状況を理解している。 【思】帝国の統治の仕組みを考察し、根拠を示して表現している。 【主】現代の中国が抱える問題について主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		大交易・大交流時代 【知】大航海時代によってヨーロッパの東西間の発展の違いについて理解させる。 【思】大航海時代によって世界の一体化が進み、それぞれの大陸にどのような影響を与えたのか理解し多角的に考察させる。 【学】大航海時代から端を発して、現在につながる問題を考察し、その原因を明らかにさせる。	大航海時代によってヨーロッパの東西間の発展の違いについて理解する。 大航海時代によって世界の一体化が進み、それぞれの大陸にどのような影響を与えたのか理解し多角的に考察する。 大航海時代から端を発して、現在につながる問題を考察し、その原因を設定し主体的に取り組む。 「課題発見」「課題解決」「表現」	4	【知】大航海時代によってヨーロッパの東西間の発展の違いを理解している。 【思】大航海時代によって世界の一体化が進み、それぞれの大陸にどのような影響を与えたのかを考察し、根拠を示して表現している。 【主】大航海時代から端を発して、現在につながる問題を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		2 学期期末考查		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	近世ヨーロッパ世界の動向 【知】主権国家体制について深く理解し、現在世界の成り立ちについて理解させる。 【思】主権国家体制の成立について、理解し、多角的に考察させる。 【学】17世紀前半に世界の覇権を握ったオランダについて考察し、なぜ日本と関係を持つことができたのか明らかにさせる。	主権国家体制について深く理解し、現在世界の成り立ちについて理解を深める。 17世紀前半に世界の覇権を握ったオランダについて考察し、なぜ日本と関係を持つことができたのかを考察する。 「課題発見」「課題解決」	8	【知】主権国家体制を理解している。 【思】主権国家体制の成立について考察し、根拠を示して表現している。 【主】17世紀前半に世界の覇権を握ったオランダについて考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		産業革命と環大西洋革命 【知】産業革命が生じた背景・影響について深く理解させる。 【思】アメリカ独立革命やフランス革命が現在世界に与えた影響について、理解し、多角的に考察させる。 【学】ナポレオン以降、国民意識を持った国民が誕生した理由を考察し、なぜ各国は国民国家の誕生を目指したのか、明らかにさせる。	産業革命が生じた背景・影響について深く理解する。 アメリカ独立革命やフランス革命が現在世界に与えた影響について理解し多角的に考察する。 国民国家やナショナリズムについての問題を考察し、その原因を設定し主体的に取り組む。 「課題発見」「課題解決」「表現」	9	【知】産業革命が生じた背景・影響について理解している。 【思】アメリカ独立革命やフランス革命が現在世界に与えた影響について考察し、根拠を示して表現している。 【主】ナショナリズムや国民国家について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考查	●	●	●
						提出物		●	●
		3 学期期末考查		1					

教科		公民	科目名	公共	対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書		「詳述公共」（実教出版）				教科 担当	A組：向後和 B組：向後和 C組：向後和		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「最新公共資料集2023」（第一学習社）									
教科の目標		【知識及び技能】社会的な課題を追究・解決するための知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】身の回りで起こる社会問題を、社会的な見方・考え方をを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現代社会で生じる社会問題に関心を持ち、追究・解決しようとする態度を養う。									
科目の目標		【知識及び技能】社会的事象等を、倫理、政治、法、経済などに関わる多様な視点で分析するため土台となる知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題の解決に向けて考察、構想できる。 【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を、合意形成や社会参画を視野に入れながら協働して追究しようとする態度を養う。									
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	（倫理分野）青年期 【知】自らの体験等を振り返ることを通し人間としての在り方生き方を理解させる。 【思】先人の取組等に触れることなどを通し、自らの形成や他者を尊重することができるようになることを理解させる。 【学】自主的によりよい公共的空間を作る自立した主体になることがキャリア形成と社会の形成に結び付くことを理解させる。	人間とは何か 青年期の意義 自己形成の課題 職業生活と社会参加 現代社会と青年の生き方 「課題発見」		8	【知】自らの体験等を振り返ることを通して、人間としての在り方生き方を理解している。 【思】社会に参画する自立した主体は、孤立するのではなく集団の一員として、当事者として公共的な空間を作る存在であることを多面的・多角的に考察、表現している。 【主】よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通し、社会参画する自立した主体について自覚を深めようとする。	定期考査	●	●	●	
						提出物			●	●	
						小テスト		●			
		（倫理分野）人間としてよく生きる 【知】人間としての在り方生き方に関わる諸資料から必要な情報を収集し読み取る技能を身に付けさせる。 【思】思考実験など考察する活動を通して人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し表現させる。 【学】現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだす。	「課題解決」「表現」 幸福とは何か ギリシアの思想		4	【知】先人の知恵等に触れることなどを通し、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解している。 【思】思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	定期考査	●	●	●	
						提出物			●	●	
						小テスト		●			
		1 学期中間考査			1						
		（倫理分野）人間としてよく生きる 【知】人間としての在り方生き方に関わる諸資料から必要な情報を収集し読み取る技能を身に付けさせる。 【思】思考実験など考察する活動を通して人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し表現させる。 【学】現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだす。	「課題解決」「表現」 宗教の教え 近現代西洋思想		9	【知】先人の知恵等に触れることなどを通し、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解している。 【思】思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	定期考査	●	●	●	
						提出物			●	●	
						小テスト		●			
		（倫理分野）民主社会の倫理 【知】人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思】概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	「課題発見」 現代社会における倫理的課題		3	【知】人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思】公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期考査	●	●	●	
						提出物			●	●	
						発表				●	
		1 学期期末考査			1						
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法	【知】	【思】	【主】
	2 学 期 （ 1 3 週 ）	（政治分野）民主国家における基本原理 【知】個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思】概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	「課題解決」 人権保障と民主主義の発達 国民主権と民主政治の発展		6	【知】各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることを理解している。 【思】個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期考査	●	●	●	
						提出物			●	●	
					小テスト		●				
（政治分野）日本国憲法の基本的性格 【知】自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思】合意形成や社会参画を視野に入れながら考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。		「表現」 日本国憲法の成立 平和主義と我が国の安全 基本的人権の保障 人権の広がり		6	【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思】合意形成や社会参画を視野に入れながら解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期考査	●	●	●		
					提出物			●	●		
					小テスト		●				
2 学期中間考査			1								
（政治分野）日本の政治機構と政治参加 【知】法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を社会の秩序が形成されていくことを理解させる。 【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。		「課題発見」 政治機構と国民生活 人権保障と裁判所 地方自治 選挙と政党 政治参加と世論		6	【知】司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期考査	●	●	●		
					提出物			●	●		
					小テスト		●				
（国際分野）国際政治の動向と課題 【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思】合意形成を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。		「課題発見」「課題解決」「表現」 国際社会における法と政治 国家安全保障と国際連合 冷戦終結後の国債政治 軍備競争と軍備縮小 異なる人種、民族との共存 国際平和と日本		6	【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思】合意形成を視野に入れながら、考察したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期考査	●	●	●		
					提出物			●	●		
					発表				●		
2 学期期末考査			1								

学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
3 学 期 （ 9 週 ）	（経済分野）現代の経済社会 【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	「課題発見」「課題解決」 経済社会の形成と変容 市場の仕組み 現代の企業 経済成長と景気変動 金融機関の働き 政府の役割と財政・租税	6	【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	定期考査	●	●	●
				【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。	提出物		●	●
				【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	小テスト	●		
	（経済活動のあり方と国民福祉） 【知】公正かつ自由な経済活動を行うことを通し資源の効率的配分が図られること等が活発な経済活動と個人の尊重を成り立たせることが必要であることを理解する。 【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	「表現」 日本経済の歩みと近年の課題 中小企業と農業 公害防止と環境安全 消費者問題 労働問題と雇用 社会保障	6	【知】公正かつ自由な経済活動を行うことを通し資源の効率的配分が図られること等が活発な経済活動と個人の尊重を成り立たせることが必要であることを理解する。	定期考査	●	●	●
				【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。	提出物		●	●
				【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	小テスト	●		
	（国際分野）国際経済の動向と課題 【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。 【学】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	「課題発見」 国際経済の仕組み 国際経済体制の変化 経済のグローバル化と金融危機 地域経済統合と新興国 ODAと経済協力	5	【知】現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	定期考査	●	●	●
				【思】社会参画を視野に入れながら、考察したりことを、論拠をもって表現させる。	提出物		●	●
				【主】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	発表			●
		3学期期末考査		1				

東京都立富士高等学校

教科		数学	科目名	数学Ⅱ	対象 学年	2年	単位数	2単位	観点別評価					
使用教科書					教科 担当	A組：浮葉 翔、富田 進 B組：浮葉 翔、神山 裕、 富田 進 C組 浮葉 翔、神山 裕、 富田 進			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
補助教材						「サクシード数学Ⅱ＋B」（数研出版）								
教科の目標						【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。								
科目の目標					【知識及び技能】図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。									
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法					
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期	第3章 図形と方程式 【知】基本的な平面図形の性質や関係が解析幾何的に解けることの有用性を理解し、いろいろな図形の考察に活用することができる。 【思】座標や方程式を用いて図形の性質を証明し、解析幾何的な見方や考え方を理解することができる。 【学】方程式で表された図形を解析することにより、図形の性質や関係を調べ、意欲的な態度で具体的な事象の考察に取り組もうとする。		軌跡と方程式 不等式の表す領域 放物線を境界線とする領域 「課題発見」「表現」		6	【知】座標平面上で x, y の式で表される図形の領域や軌跡を理解し、数学的に処理することができる。 【思】座標式を用いて平面図形の性質や関係において、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できる。 【主】方程式や不等式のもつ幾何的性質に関心を示し、意欲的に活用に取り組もうとする。		小テスト		●	●	●	
									課題・レポート			●	●	
									定期考査		●	●	●	
		第4章 三角関数 【知】グラフから三角関数の性質を理解し方程式・不等式の考察に活用することができる。 【思】三角関数のグラフにより、関数の諸性質が明確に表現できることを理解し、数学的に考察できるようにする。 【学】三角関数の概念や性質に関心を示し、主体的に具体的な事象の解析に取り組もうとする。		一般角と弧度法 三角関数 三角関数の性質 「課題発見」 三角関数のグラフ 三角関数の応用 「課題解決」		5 6	【知】三角関数の性質や相互関係についての理解を深めることで、的確に三角関数の値を求めることができる。 【思】扇型の弧の長さや面積を求めることにより弧度法の有用性を理解し、活用することができる。 【主】角の概念を一般角で考えることにより、三角比の概念を拡張できることを理解する。 【知】三角関数の周期性、対称性を理解することで正確にグラフをかき、事象の処理に役立てることができる。 【思】三角関数のグラフをかくことにより弧度法の有用性を理解し、活用することができる。 【主】弧度法によって実数変数の関数として三角関数の概念を導入できることに関心を示し、主体的に具体的な事象の解析に取り組もうとする。		小テスト		●	●	●	
									課題・レポート			●	●	
									定期考査		●	●	●	
		1学期中間考査					1							
				加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成 「課題発見」「表現」		6	【知】正弦・余弦の加法定理の意味を理解し、種々の公式を導くことで、角に関する問題や方程式・不等式の解法に利用することができる。 【思】加法定理や三角関数の合成を理解し、関数のもつ性質について数学的に考察できる。 【主】加法定理や三角関数の合成について関心を示し、意欲的に活用に取り組もうとする。		小テスト		●	●	●	
									課題・レポート			●	●	
									定期考査		●	●	●	
		第5章 指数関数と対数関数 【知】指数関数・対数関数の性質やグラフの特徴を理解し、指数関数や対数関数が活用されている場面の知識を身に付ける。 【思】累乗の拡張を通して、指数関数、対数関数を論理的に考えることができる。 【学】数の累乗を拡張させて指数関数を、またその逆として対数関数を考えることに関心をもち、		指数の拡張 指数関数 「課題発見」「課題解決」 対数とその性質 対数関数 常用対数 「課題発見」「表現」		5 5	【知】指数を拡張する意義や累乗根の意味を理解している。指数関数のグラフの特徴を理解し、指数関数を含む方程式や不等式の解法を理解している。 【思】指数関数のグラフを考察する際に、直観的に指数を実数にまで拡張して考えることができる。指数関数のグラフや性質を用いて、方程式や不等式を考察することができる。 【主】指数の拡張について関心を示し、指数関数のグラフや性質について調べようとする。 【知】対数の意味とその必要性を理解し、対数関数をグラフに表すことができる。対数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。 【思】指数の逆としての対数をとらえ、その性質や底の変換公式を導く過程を考察することができる。 【主】対数や対数の性質について関心を示し、具体的な事象に活用しようとする。常用対数が概数を考察する際に有効であることに関心をもち、積極的に取り組もうとする。		小テスト		●	●	●	
									課題・レポート			●	●	
定期考査									●	●	●			
1学期期末考査					1									
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と	2 学 期	第6章 微分法と積分法 【知】微分係数や導関数及び不定積分、定積分の意味、また定積分と面積の関係を理解し、面積の求め方の知識を身に付ける。 【思】微分係数や導関数についての数学的な見方を身に付け、具体的な事象を考察することができる。 また、面積の意味を考え、定積分の利用について考察することができる。 【学】関数の変化やその割合について関心をもち、調べようとしたり、微分係数と導関数の導入について関心を示したり、微分の逆演算としての不定積分に関心を示し、面積を求める際に定積分を活用しようとする態度を養う。		微分係数 導関数 「課題発見」 接線 関数の値の変化 「課題解決」 最大値・最小値 関数のグラフと方程式・不等式 「課題発見」「表現」		5 6 6	【知】導関数の定義に従って、関数を微分することができる。関数の和、差及び定数倍の導関数を求めることができる。 【思】導関数の意味をグラフと関連づけて、数学的に考察することができる。 【主】平均変化率、微分係数、導関数の考え方に関心をもち、調べようとする。 【知】接線の意味とその方程式の求め方を理解し、接線の方程式を求めることができる。関数の増減を調べること、極値を求めることができる。3次以下の整関数のグラフをかくことができる。 【思】導関数の符号から関数の値の増減を考察することができる。 【主】関数の値の変化を調べようとする。関数のグラフを調べる際に、微分係数、導関数を活用しようとする。 【知】関数の最大値・最小値の意味とその求め方について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 【思】関数の値の増減やグラフを利用して、方程式の実数解の個数を調べたり、不等式の証明を考察することができる。 【主】関数の値の増減を活用して、文字係数を含む関数の最大最小や方程式・不等式への応用に関して関心をもち、調べようとする。		小テスト		●	●	●	
									課題・レポート			●	●	
									定期考査		●	●	●	
						6			小テスト		●	●	●	
									課題・レポート			●	●	
									定期考査		●	●	●	
		2学期中間考査					1							

授 業 時 数		不定積分 定積分 「課題発見」	8	【知】微分と積分の関係や定積分の定義を理解している。関数の和、差及び定数倍の不定積分を求めることができる。 【思】定積分の計算を、定積分の性質を用いて考察することができる。 【主】微分の逆演算としての積分に関心をもつ。	小テスト	●	●	●
					課題・レポート		●	●
					定期考査	●	●	●
		面積 放物線と直線で囲まれた図形の面積 「課題解決」	8	【知】面積と定積分の関係について理解し、簡単な図形の面積の求め方の知識を身に付けている。定積分を用いて、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【思】直線や放物線で囲まれた簡単な図形について、その面積の求め方を数学的に考察することができる。 【主】面積と定積分の関係に関心をもつ。	小テスト	●	●	●
					課題・レポート		●	●
					定期考査	●	●	●
		2学期期末考査	1					

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		数学	科目名	数学Ⅲ	対象 学年	2 年	単位数	1単位	観点別評価				
使用教科書		「数学Ⅲ」（数研出版）				教科 担当	A組：浮葉 翔 B組：浮葉 翔、神山 裕 C組：浮葉 翔、神山 裕		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に 取り組む 態度		
補助教材		「サクシード数学Ⅲ＋C」（数研出版） 「NEW ACTION LEGEND数学Ⅲ」（東京書籍）											
教科の目標		【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。											
科目の目標		【知識及び技能】関数、極限の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】式を多角的に捉え目的に応じた式変形を考察したり、事象を数学的に考察し問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期	第1章 関数 【知】分数関数や無理関数、逆関数や合成関数の定義や性質、関数値の極限の様子について理解している。 【思】新たな関数の概念について考察することができる。 【学】分数関数や無理関数などの新しい関数や、逆関数、合成関数などの関数の新たな概念について関心をもつ。		分数関数 無理関数 逆関数と無理関数 「課題解決」		12	【知】分数関数や無理関数、逆関数、合成関数の定義や性質を理解している。分数関数や無理関数のグラフや式を利用して、方程式、不等式を解くことができる。 【思】分数関数や無理関数の式とグラフを関連づけて考察することができる。 【主】分数関数や無理関数の性質を調べようとする。逆関数、合成関数などの関数の概念について理解を深めようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート	●	●	●	
									定期考査	●	●	●	
		第2章 極限 【知】無限数列や無限級数の収束、発散の関係を理解し、調べることができる。いろいろな関数値の極限を調べることができる。 【思】無限数列や無限級数などの新しい関数や、逆関数、合成関数などの関数の新たな概念について関心をもつ。 【学】無限数列や無限級数の極限に関心をもち、事象の考察にも活用しようとする。関数値の極限を事象の考察に活用しようとする。		数列の極限 無限等比数列 無限級数 「課題発見」「表現」		11	【知】無限数列や無限級数と、その収束や発散の関連について理解している。無限等比級数の収束、発散を判定することができる。 【思】無限数列や無限等比級数の収束、発散について考察することができる。 【主】無限数列や無限等比級数の極限を調べたり、漸化式で表された数列の極限を調べるのに活用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート	●	●	●	
									定期考査	●	●	●	
				関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性 「課題発見」「課題解決」		11	【知】いろいろな関数値の極限の様子や、連続関数の性質について理解している。いろいろな関数について、極限の様子を調べたり、連続性を調べたりすることができる。 【思】関数の連続について、関数値の極限を用いて考察することができる。 【主】いろいろな関数値の極限を調べたり、それを関数の連続性の概念の理解に活用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート	●	●	●	
									定期考査	●	●	●	
				3学期期末考査		1							

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		数学	科目名		数学B	対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		「数学B」 （数研出版）				教科 担当	A組：山口 尚行 B組：浮葉 翔 C組：山口 尚行		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材		「サクシード数学Ⅱ＋B」 （数研出版）											
教科の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。											
科目の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数値化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知】確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴を理解する。 【思】確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		確率変数と確率分布 和の記号Σ ※第1章 数列 確率変数の期待値と分散 【富士未来学と関連】 統計分析講座と関連付けて指導する。		4	【知】確率変数の確率分布、期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思】確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて、確率分布の特徴を考察することができる。 【主】確率変数の期待値、分散に関する公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとしている。		小テスト		●	●	●
									課題・レポート			●	●
									定期考査		●	●	●
				確率変数の変換 確率変数の和と期待値 【富士未来学と関連】 統計分析講座と関連付けて指導する。		4	【知】確率変数の和の期待値などを、公式を利用して求めることができる。 【思】確率変数の変換を行い、変換前後の確率変数の特徴を考察することができる。 【主】確率変数の変換公式、同時分布、和の期待値の計算に積極的に取り組もうとしている。		小テスト		●	●	●
									課題・レポート			●	●
									定期考査		●	●	●
				独立な確率変数と期待値・分散 変化をとらえる～回帰分析～ ※第3章 数学と社会生活 「課題解決」 【富士未来学と関連】 統計分析講座と関連付けて指導する。		4	【知】独立な確率変数の積の期待値、和の分散を求めることができる。 【思】確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係を捉えることができる。 【主】独立・従属の観点で事象を考察することに関心をもち、乗法定理を事象の独立・従属の観点から考えようとしている。		小テスト		●	●	●
									課題・レポート			●	●
									定期考査		●	●	●
		二項分布 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲと関連付けて指導する。		4	【知】二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思】反復試行の結果を、二項分布を用いて考察することができる。 【主】二項分布に興味、関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとしている。		小テスト		●	●	●		
							課題・レポート			●	●		
							定期考査		●	●	●		
		1学期中間考査		1									
		第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 【知】標本調査の考え方、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解する。 【思】目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		正規分布 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲと関連付けて指導する。		4	【知】正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換して確率を求めることができる。 【思】日常の身近な問題を統計的に処理することに正規分布を利用できる。 【主】連続的な確率変数である正規分布に興味をもち、正規分布について積極的に考察しようとしている。		小テスト		●	●	●
									課題・レポート			●	●
									定期考査		●	●	●
				母集団と標本 標本平均とその分布 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲと関連付けて指導する。		4	【知】標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 【思】母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方について考察することができる。 【主】実際に行われているさまざまな調査に興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとしている。		小テスト		●	●	●
課題・レポート										●	●		
定期考査									●	●	●		
推定 「課題解決」 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲと関連付けて指導する。				4	【知】信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる。 【思】推定や信頼区間の考え方について考察することができる。 【主】母平均や母比率の推定に関心をもち、推定に積極的に取り組もうとしている。		小テスト		●	●	●		
							課題・レポート			●	●		
							定期考査		●	●	●		
仮説検定 「課題発見」「課題解決」「表現」 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲや統計分析講座と関連付けて指導する。		5	【知】仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。 【思】片側検定と両側検定の違いを理解し、適切に活用することができる。 【主】仮説検定によってさまざまな判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとしている。		小テスト		●	●	●				
					課題・レポート			●	●				
					定期考査		●	●	●				
1学期期末考査		1											

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期	第1章 数列 第1節 数列とその和 【知】等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解する。 【思】事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数列 等差数列とその和 「課題発見」	4	【知】等差数列の和の公式を適切に利用して、等差数列の和を求めることができる。 【思】項の正負と数列の和の増減の関係から、等差数列の和の最大、最小について考察することができる。 【主】等差中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとしている。	小テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			等比数列とその和	4	【知】等比数列の和に関する条件から、初項や公比を求めることができる。 【思】等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係やその和について考察することができる。 【主】等比中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとしている。	小テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			和の記号Σ	4	【知】数列の第k項をkの式で表すことで、初項から第n項までの和を求めることができる。 【思】Σの性質を利用して、和の計算を簡単に行うことができる。 【主】自然数の2乗の和や3乗の和の公式を導こうとしている。	小テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		階差数列 【相互評価活動】 階差数列の記述の場面において、相互評価活動をととして自己調整を行う。	4	【知】階差数列について理解し、それを利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。 【思】初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察することができる。 【主】数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとしている。	小テスト	●	●	●		
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●	●		
		2学期中間考査				1				
			いろいろな数列の和	6	【知】和の求め方の工夫をして、数列の和を求めることができる。 【思】 $f(k+1)-f(k)$ を用いる和の求め方を理解し、具体的な問題に活用することができる。 【主】群数列に興味をもち、一般項や和について考察しようとしている。	小テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		第2章 数列 第2節 数学的帰納法 【知】漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法について理解する。 【思】事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	漸化式と数列 「課題発見」「課題解決」	6	【知】初項と漸化式から数列の一般項を求めることができる。 【思】与えられた条件から漸化式を求めて考察することができる。 【主】確率の問題に漸化式が利用できることに興味、関心をもち、問題解決に利用しようとしている。	小テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			数学的帰納法 「表現」	5	【知】数学的帰納法を用いて、等式、整数の性質、不等式を証明することができる。 【思】数学的帰納法で証明した命題について、別の方法で証明してそれらを比較するなど、多面的に考察することができる。 【主】数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとしている。	小テスト	●	●	●	
						課題・レポート		●	●	
						定期考査	●	●	●	
			2学期期末考査				1			

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		数学	科目名		数学C	対象 学年	2 年	単位数	1単位	観点別評価		
使用教科書		「数学C」（数研出版）				教科 担当	A組：山口 尚行 B組：浮葉 翔 C組：山口 尚行		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「サクシード数学Ⅲ＋C」、「サクシード数学C」（数研出版）										
教科の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
科目の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準					評価方法
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期	第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 【知】平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示、ベクトルの内積及びその基本的な性質を理解する。 【思】実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		平面上のベクトル ベクトルの演算 「課題発見」		4	【知】ベクトルの分解について理解し、ベクトルを2つのベクトルの1次結合の形に表現することができる。 【思】ベクトルの演算において成り立つ法則について、考察することができる。 【主】ベクトルの演算に興味、関心をもち、数式の演算法則との類似性を考察しようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		ベクトルの成分 ベクトルの内積		ベクトルの成分 ベクトルの内積		4	【知】大きさとなす角でベクトルの内積を計算することができる。また、成分表示されたベクトルの内積を計算することができる。 【思】内積の性質を用いて、ベクトルの大きさやなす角を求めることができる。 【主】座標平面上の図形の問題について、ベクトルを活用して解く解法を知り、ベクトルを用いない場合の解法と比較して考察しようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形 【知】平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示、ベクトルの内積及びその基本的な性質を理解する。 【思】ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする思考力、判断力、表現力等を身に付ける。数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		位置ベクトル ベクトルと図形 「課題発見」「課題解決」「表現」 【相互評価活動】 ベクトルの係数決定における記述の場面において、相互評価活動をとおして自己調整を行う。		6	【知】線分上の点を、線分をs：(1－s)に内分する点として処理することができる。 【思】図形の性質をベクトルで表現して扱うことができる。 【主】線分ABをm：nに外分する点の位置ベクトルを表す式が、mとnの大小関係に関わらず同じであることに興味をもち、確かめようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
				ベクトル方程式		4	【知】直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。 【思】直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連付けることができる。 【主】ベクトルを用いて円の性質を考察しようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		第2章 空間のベクトル 【知】座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解する。 【思】ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする思考力、判断力、表現力等を身に付ける。数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		空間の座標 空間のベクトル		2	【知】座標空間において、点の座標、2点間の距離などを求めることができる。 【思】空間のベクトルを、平面上のベクトルの拡張として捉えることができ、平面上のベクトルで成り立つ性質が、空間においても同様に成り立つことを理解している。 【主】空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察しようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		ベクトルの成分 ベクトルの内積		ベクトルの成分 ベクトルの内積		2	【知】ベクトルのなす角を、内積を利用して求めることができる。 【思】ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 【主】成分表示されたベクトルの内積の公式を、平面の場合の拡張として導こうとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		位置ベクトル ベクトルと図形 「課題発見」「課題解決」「表現」		位置ベクトル ベクトルと図形 「課題発見」「課題解決」「表現」		8	【知】ある点が3点で定まる平面上にあるための必要十分条件を理解し、それを利用することができる。 【思】内積を利用して、直線に垂線を下ろしたときの交点の座標を求めることができる。 【主】3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		座標空間における図形		座標空間における図形		4	【知】座標軸に垂直な平面の方程式、球面の方程式について理解している。 【思】球面と平面が交わってできる図形を、連立方程式の解の集合として捉えることができる。 【主】座標空間における平面の方程式、直線の方程式に興味をもち、考察しようとしている。		小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●	●	
							定期考査		●	●	●	
		3学期期末考査				1						

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		理科	科目名	物理	対象 学年	2 年	単位数	3単位	観点別評価				
使用教科書		「高等学校 物理」（第一学習社）				教科 担当	A組：小浦 真史 B組：阿江 伸也、小浦 真史 C組：小浦 真史			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）」											
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。											
科目の目標		【知識及び技能】物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 3 週）	平面運動と放物運動 【知】速度・加速度のベクトルを用いた表し方を理解する。 【思】加速度を用いて速度や位置の公式を理解させる。平面上の運動をベクトル表示、成分表示、双方から表現する。 【学】放物運動を身近な現象に結びつけ、主体的に授業に参画する。		平面運動 「課題発見」「表現」 放物運動 「課題発見」「表現」「課題解決」		4	【知】ベクトルを用いた位置や速度の表記の仕方を理解し、表記できる。 【思】速度の合成、相対速度をベクトルを用いて計算できる。 【思】加速度を用いて速度や位置の公式を導き、思考できる。 【主】自由落下、斜方投射など放物運動を身近な現象に結びつけ、積極的に理解しようとしている。		提出物			●	●
									実験レポート			●	●
									定期考査・小テスト		●	●	
		剛体のつりあい 【知】剛体、力のモーメントの理解を深める。 【思】力のモーメントのつりあいと力のつりあいから剛体のつりあいを説明し、表現する。 【学】身の周りの様々な物体の重心の位置に興味をもち、確かめる姿勢をもつ。		剛体にはたらく力とその合力 「課題発見」「表現」 剛体の重心とつりあい 「課題発見」「表現」「課題解決」		11	【知】剛体何かを理解し、力のモーメントを計算できる。 【思】力のモーメントのつりあいと力のつりあいを利用して剛体にはたらく力を考察できる。 【主】身の周りの様々な物体の重心の位置を意欲的に求めようとしている。		提出物			●	●
									実験レポート			●	●
									定期考査・小テスト		●	●	
		運動量の保存 【知】動量と力積、運動量保存、反発係数の概念を理解する。 【思】運動量が保存する条件について理解し、複数物体系の運動についてを保存則の観点から説明し、表現する。 【学】複数物体の運動に興味をもち、積極的に思考する態度を養う。		運動量と力積 「課題発見」「表現」 運動量保存の法則 「課題発見」「表現」「課題解決」 反発係数 「課題発見」「表現」		12	【知】運動量と力積、運動量保存、反発係数の概念を理解し、計算できる。 【思】運動量が保存する場合を理解し、複数物体系の運動について考察できる。 【主】運動量が保存することと重心速度が一定であることを積極的に考察している。		提出物			●	●
									実験レポート			●	●
									定期考査・小テスト		●	●	
		円運動 【知】円運動が力学的にどのような運動であるか理解し、半径・速度・周期などを計算できる技能を身に付ける。 【思】静止系と慣性系それぞれの座標系から見た運動を考察し、それぞれの系での運動を表現する。 【学】身体感覚と物理現象を結び付け、主体的に思考する態度を養う。		円運動 「課題発見」「表現」 慣性力と遠心力 「課題発見」「表現」「課題解決」		10	【知】円運動が力学的にどのような運動であるか理解し、半径・速度・周期などを計算できる。慣性力がどのような状況で発生するかを理解し、運動方程式を用いて計算できる。 【思】静止系と慣性系それぞれの座標系から見た運動を考察できる。 【主】遊園地の乗り物について、慣性力を用いて意欲的に考察している。		提出物			●	●
									実験レポート			●	●
									定期考査・小テスト		●	●	
		1学期期末考査				1							

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 週 ）	気体の性質と分子の運動 【知】気体の状態方程式、熱力学第一法則を理解する。 【思】気体分子の運動から圧力や内部エネルギーを導出し、それを表現する。 【学】熱力学第二法則に興味をもち、主体的に思考する態度を養う。	気体の法則 「課題発見」「表現」 気体の分子運動 「課題発見」「表現」「課題解決」 気体の内部エネルギーと仕事 「課題発見」「表現」「課題解決」	3	【知】気体のもつパラメータを理解し、計算に利用できる。 【思】気体分子運動論を理解し、気体分子の運動から圧力や内部エネルギーを導出し、考察できる。熱力学第一法則やP-V図を理解し、仕事や温度を考察できる。 【主】熱力学の可能性について、時間と関連付けながら積極的に理解している。	提出物		●	●
						実験レポート		●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		単振動 【知】単振動、万有引力、ケプラーの3法則を理解し、種々の物理量を計算できる。 【思】単振動について時間追跡及びエネルギー保存則を用いて、表現する。 【学】天体の運動について歴史的な背景に思いを馳せながら、ニュートンの万有引力の法則にいたるまでの道程に興味をもつ。	単振動 「課題発見」「表現」「課題解決」 万有引力による運動 「課題発見」「表現」「課題解決」	10	【知】単振動について、周期や速度を計算できる。万有引力を理解し、運動方程式を用いて計算できる。ケプラーの3法則を理解し、天体の運動を計算できる。 【思】単振動について分析し、時間追跡、エネルギー保存について考察できる。 【主】天体の運動について、ディコブラーエ、ケプラー、ニュートンについて意欲的に調べている。	提出物		●	●
						実験レポート		●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		波動 【知】波の基本公式、音波について理解する。 【思】波の式、ドップラー効果の原理について図を用いて説明し、表現する。 【学】実験を通して、体感的に現象を理解しようとする態度を養う。	波の性質 「課題発見」「表現」 音波 「課題発見」「表現」「課題解決」	8	【知】波の基本公式を理解し、波長や振動数を計算できる。音波の持つ性質を理解し、ドップラー効果の公式を用いて振動数を計算できる。 【思】波の式、ドップラー効果の式について図を描いて、考察できる。 【主】ドップラー効果やうなりの現象を周波数を変え、積極的に体感しようとしている。	提出物		●	●
						実験レポート		●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		2学期中間考査		1					
		波動 【知】レンズや鏡が結ぶ光線による像の作図ができ、その種類についても判断する。 【思】光波の持つ性質を理解し、様々な状況の干渉現象を分析し考察する。 【学】実験を通して、光の進路について積極的に考察する態度を養う。	光波 「課題発見」「表現」「課題解決」	9	【知】光が結ぶ像の種類、位置等を判断し計算できる。 【思】光波の持つ性質を理解し、様々な状況の干渉現象を分析し考察できる。 【主】レンズ及び鏡の実験を通して光が結ぶ像について積極的に確かめようとしている。	提出物		●	●
						実験レポート		●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	電場と電位 【知】電場と電位について、その定義を理解する。 【思】電位と電場について、その関係を理解し、表現する。 【学】電場と電位について既習事項と結び付け、その類似性を主体的に考察する態度を養う。	電場 電位 「課題発見」「表現」「課題解決」 コンデンサー 「課題発見」「表現」	7	【知】電場と電位について、その定義を理解し、それぞれ計算できる。コンデンサーの構造を理解し、電気量や電気容量を計算できる。 【思】電位と電場について、その関係を理解し、考察できる。 【主】電場と電位について力学と関連付けながら積極的に考察しようとしている。	提出物		●	●
						実験レポート		●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		2学期期末考査		1					
		電流 【知】直流回路を構成する素子について理解する。回路を流れる電流を計算できる。 【思】直流回路の状態について決定し、表現する。回路のエネルギー状態について説明できる。 【学】身近なセンサーについて、その原理に興味をもち、積極的に思考する態度を養う。	電流と抵抗 直流回路 「課題発見」「表現」 半導体 「課題発見」「表現」「課題解決」	7	【知】オームの法則とジュール熱、電力の計算公式を理解し、計算できる。直列と並列の違いを理解し、電流や電位差を計算できる。 【思】直流回路のエネルギー収支について考察できる。 【主】半導体のキャリアと電流の関係を理解し、ホール効果について意欲的に理解しようとしている。	提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		電流と磁場 【知】電流と磁場の関係、生じる磁場について理解する。 【思】アンペール力、ローレンツ力を理解し、電気現象を定量的に表現できる。 【学】アンペール力をローレンツ力から導出し、積極的に関連付ける。	磁場 「課題発見」「表現」 電流が磁場から受ける力 「課題発見」「表現」「課題解決」 ローレンツ力 「課題発見」「表現」「課題解決」	7	【知】電流が作る磁場を理解し、様々な場合において計算できる。 【思】アンペール力、ローレンツ力を理解し、様々な電気現象を考察できる。 【主】アンペール力とローレンツ力の関係を積極的に考察できる。	提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		電磁誘導と交流 【知】電磁誘導で発生する起電力について理解する。 【思】エネルギーの変換について説明できる。交流回路について数学的に表現する。 【学】交流回路について興味をもち、積極的に考察する姿勢を養う。	電磁誘導 「課題発見」「表現」「課題解決」 交流 「課題発見」「表現」「課題解決」 電磁波 「課題発見」「表現」	6	【知】電磁誘導を理解し、計算できる。電磁波の発生の仕組みを理解し、説明できる。 【思】交流回路について数学的に処理し、考察できる。 【主】交流回路の素子毎の消費電力について意欲的に考察しようとしている。	提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数		原子物理 【知】光の粒子性、波動性について理解する。 【思】電子や原子、原子核において見られる現象について原理を説明できる。 【学】古典物理から現代物理学へと至る思考過程について興味をもって追体験する姿勢を養う。	電子と光 「課題発見」「表現」 原子と原子核 「課題発見」「表現」	6	【知】光の粒子性と波動性を理解し、説明できる。原子の構造とスペクトル、電子のエネルギー準位について理解している。 【思】光電効果について実験結果を正しく解釈し、そのメカニズムを数式を用いて説明できる。電子のエネルギー準位と、原子の出す光の関係を理解できる。 【主】科学者たちの思考過程を意欲的に追体験し、理解しようとしている。	提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
						定期考査・小テスト	●	●	
		3学期期末考査		1					

教科		理科	科目名		生物	対象 学年	2 年	単位数	3単位	観点別評価		
使用教科書		「生物」（東京書籍）				教科 担当	A 組：塩入 直也 B 組：塩入 直也 C 組：塩入 直也			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「スクエア最新図説生物」（第一学習社） 「リードLightノート生物」（数研出版） セミナー生物（第一学習社）										
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。										
科目の目標		【知識及び技能】生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。										
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	【知】生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。 【学】生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	1 編 生物の進化 1 章 生命の起源と細胞の進化 「課題発見」「課題解決」「表現」		6	【知】生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●			
							課題提出物	●	●	●		
							実験レポート	●	●	●		
		【知】生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。 【学】遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2 章 遺伝子の変化と進化のしくみ 「課題発見」「課題解決」「表現」		6	【知】生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●			
							課題提出物	●	●	●		
							実験レポート	●	●	●		
		【知】生物の進化について、生物の系統と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。 【学】生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3 章 生物の系統と進化 「課題発見」「課題解決」「表現」		6	【知】生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●			
							課題提出物	●	●	●		
							実験レポート	●	●	●		
		1 学期中間考査		1								
		【知】生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。 【学】細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2 編 生命現象と物質 1 章 細胞と物質 「課題発見」「課題解決」「表現」		7	【知】生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主】細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●			
							課題提出物	●	●	●		
							実験レポート	●	●	●		
		【知】生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。 【学】代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2 章 代謝とエネルギー 「課題発見」「課題解決」「表現」		12	【知】生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主】代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●			
							課題提出物	●	●	●		
							実験レポート	●	●	●		
		1 学期期末考査		1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	【知】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【学】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3 編 遺伝情報の発現と発生 1 章 遺伝情報とその発現 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
		【知】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【学】 発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2 章 発生と遺伝子発現 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
			3 章 遺伝子を扱う技術 「課題発見」「課題解決」「表現」	7	【知】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
			2 学期中間考查	1					
		【知】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【学】 刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	4 編 生物の環境応答 1 章 動物の刺激の受容と反応 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
		【知】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【学】 動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2 章 動物の行動 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
		【知】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【学】 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3 章 植物の環境応答 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
			2 学期期末考查	1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	【知】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【学】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	5 編 生態と環境 1 章 個体群と生物群集 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	【知】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。 【主】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
		【知】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。 【学】 生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2 章 生態系の物質生産と物質循環 「課題発見」「課題解決」「表現」	9	【知】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。 【主】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
		【知】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。 【学】 生態系と人間生活に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3 章 生態系と人間生活 「課題発見」「課題解決」「表現」	5	【知】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。 【主】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考查・小テスト	●	●	●
						課題提出物	●	●	●
						実験レポート	●	●	●
			3 学期期末考查	1					

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		保健体育	科目名	体育	対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書「新高等保健体育」（大修館）					教科 担当	A組：西村 猛、半谷 亮介、中島 由香里、 長 明日香、宋 強賢 B組：西村 猛、半谷 亮介、中島 由香里、 長 明日香、宋 強賢 C組：西村 猛、半谷 亮介、中島 由香里、 長 明日香、宋 強賢			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に 取り組 む態度		
補助教材													
教科の目標					【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
科目の目標					【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。								
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 週）	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。		テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 ベースボール型では、バット操作と走型、ボール操作と守備などによって攻防をする。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 「課題発見」「課題解決」「表現」		8	【知】 球技では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 体づくり運動では、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思】 球技では、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 体づくり運動では、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 球技では、球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。		提出物	●	●	●	
							実技試験			●		●	
							グループ学習				●	●	
							提出物			●	●	●	
							実技試験			●		●	
							グループ学習				●	●	
	2 学 期 （ 1 週）		体育理論 【知】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。 【思】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むこと。		運動やスポーツの効果的な学習の仕方 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について知る。 スポーツの技術と技能及びその変化について学ぶ。 運動やスポーツの技能の上達過程を知る。 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について学ぶ。		6	【知】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる。 【思】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。		提出物	●	●	●
								実技試験			●		●
								グループ学習				●	●
	3 週		球技 【知】 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思】 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学】 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 ベースボール型では、バット操作と走型、ボール操作と守備などによって攻防をする。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 「課題発見」「課題解決」「表現」		4	【知】 球技では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思】 球技では、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 球技では、球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。		提出物	●	●	●
								実技試験			●		●
								グループ学習				●	●
	4 週		水泳 【知】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		4 泳法 スタート・ターン クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをする。		4	【知】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。		提出物	●	●	●
								実技試験			●		●
								グループ学習				●	●

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週）	球技2 【知】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技芸や仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 ベースボール型では、バット操作と走型、ボール操作と守備などによって攻防をする。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 「課題発見」「課題解決」「表現」	7	【知】球技では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技芸で仲間と連携しゲームを展開することができる。 体づくり運動では、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思】球技では、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		
						グループ学習		●	●
		球技3 【知】運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思】自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学】生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	バスケットボール ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。	6	体づくり運動では、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】球技では、球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
	1 3 週	武道 【知】技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。ことなどや、健康・安全を確保すること。	鑑刀 鑑刀では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をする。 チームの課題を解決するための練習方法を見つける。グループ学習をとおして、課題解決に向けた練習に取り組む。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】武道 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解できる。 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができる。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】武道に自主的に取り組む 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 自己の責任を果たそうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
	1 3 週	水泳 【知】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思】泳法などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	4泳法 スタート・ターン クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをする。	7	【知】記録の向上や競争及び自己やチームの課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
	3 学 期 （ 9 週）	球技4 【知】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	ニュースポーツ ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 チームの課題を解決するための練習方法を見つける。グループ学習をとおして、課題解決に向けた練習に取り組む。 「課題発見」「課題解決」「表現」	9	【知】ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】球技に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話合いに貢献しようとする。ことなどや、健康・安全を確保している。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●
	3 学 期 （ 9 週）	陸上競技 【知】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、長距離走特有の技能を身に付けること。 【思】動きなどの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。ことなどや、健康・安全を確保すること。	長距離走 自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりする。 自己の課題を解決するための練習方法を見つける。グループ学習をとおして、課題解決に向けた練習に取り組む。 「課題発見」「課題解決」「表現」	9	【知】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わうことができる。 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解できる。 長距離走特有の技能を身に付けている。 【思】動きなどの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主】陸上競技に自主的に取り組んでいる。 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	提出物	●	●	●
						実技試験	●		●
						グループ学習		●	●

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		保健体育	科目名	保健	対象 学年	2 年	単位数	1単位	観点別評価				
使用教科書					教科 担当	A組：西村 猛 B組：西村 猛 C組：西村 猛			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材													
教科の目標													
科目の目標													
【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。													
【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。													
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容	1 学 期 （ 1 3 週 ）	生涯を通じる健康 【知】生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。 【思】生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 【学】生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。		思春期と健康 「課題発見」		3	【知】思春期には、心身の発達等に伴い健康課題が生じること、自分の行動や異性への理解や尊重する態度、性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 結婚生活における受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感などや母子の健康診査等の活用が必要であること、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について、理解したことを言ったり書いたりしている。 中高年期を健康やかに過ごすためには自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		定期考査		●	●	
				性意識の変化と性行動の選択					ノート		●	●	
				結婚生活と健康		3	【思】思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		グループワーク		●	●	
									定期考査		●	●	
				妊娠・出産と健康		3	【主】思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康についての学習に、主体的に取り組もうとしている。		ノート		●	●	
									グループワーク		●	●	
				家族計画 「課題解決」「表現」		3			定期考査		●	●	
									ノート		●	●	
				1学期期末考査		1			グループワーク		●	●	
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	生涯を通じる健康 【知】生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。 【思】生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 【学】生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。		加齢と健康 「課題発見」		5	【知】思春期には、心身の発達等に伴い健康課題が生じること、自分の行動や異性への理解や尊重する態度、性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 結婚生活における受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感などや母子の健康診査等の活用が必要であること、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について、理解したことを言ったり書いたりしている。 中高年期を健康やかに過ごすためには自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		定期考査		●	●	
				高齢社会に対応した取り組み 「課題解決」					ノート		●	●	
				働くことと健康		4	【思】思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		グループワーク		●	●	
									定期考査		●	●	
				労働災害の防止		4	【主】思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康についての学習に、主体的に取り組もうとしている。		ノート		●	●	
									グループワーク		●	●	
				働く人の健康づくり 「表現」		3			定期考査		●	●	
									ノート		●	●	
				2学期期末考査		1			グループワーク		●	●	

		単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	健康を支える健康づくり 【知】健康の保持増進には、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に利用することが必要であること、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて理解することができるようにする。 【思】保健・医療制度及び地域の保健・医療機関に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学】保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法及び適切な活用方法の選択に向けての話し合いや意見の交換などに主体的に取組もうとしている。	大気汚染と健康 「課題発見」	3	【知】我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていること、疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査	●	●	
					ノート	●	●	●	
					グループワーク		●	●	
			水質汚濁・土壌汚染と健康		定期考査	●	●		
					ノート	●	●	●	
					グループワーク		●	●	
			健康被害を防ぐための環境対策		定期考査	●	●		
					ノート	●	●	●	
					グループワーク		●	●	
			環境衛生に関わる活動 「課題解決」		定期考査	●	●		
					ノート	●	●	●	
					グループワーク		●	●	
			食品の安全性を確保する取り組み	定期考査	●	●			
				ノート	●	●	●		
				グループワーク		●	●		
			保健制度とその活用	定期考査	●	●			
				ノート	●	●	●		
				グループワーク		●	●		
			医療制度とその活用	定期考査	●	●			
				ノート	●	●	●		
				グループワーク		●	●		
			様々な保健活動や対策 「課題解決」「表現」※富士未来学と関連	定期考査	●	●			
				ノート	●	●	●		
				グループワーク		●	●		
誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 「表現」※富士未来学と関連	定期考査	●	●						
	ノート	●	●	●					
	グループワーク		●	●					

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		家庭	科目名	家庭基礎	対象学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書		「家基706 Agenda家庭基礎 」（実教出版）				教科担当	A組：田川 奈緒子 B組：田川 奈緒子 C組：田川 奈緒子		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「2024 最新生活ハンドブック 資料&成分表」（第一学習社）									
教科の目標		【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定、解決策を構想・実践・考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。									
科目の目標		【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定、解決策を構想・実践・考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。									
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当時間	評価規準		評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	1章 自分・家族 【知】自分の今と将来を見つめ、自分の将来設計を見通す。 【思】個人の価値を尊重し、自己の能力を伸ばす。 【学】自主・自立の精神を養う。	ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 今の自分について自己分析を行い、未来予想描く。 これからの人生をデザインする 人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションする。 こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。 「課題発見」		2	【知】 今後の人生や青年期の課題に関心を持ち、個人として自立することをめざし、現在の青年期の課題に積極的にとりくもうとする。自立の意味を理解しており、青年期の課題としてとらえることができる。 【思】その観点から、現在の自分の課題をみいだすことができる。高校生として、自分の行動をコントロールし、他者の権利を尊重して行動することができる。 【主】自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワーク等を用いてそれらを具体的に描いていくことができる。		提出物	●		
							期末考査		●		
							授業態度				●
		1章 自分・家族 【知】生きていく上で、家事労働と職業労働について学習し重要であることを知る。 【思】勤労を重んじる態度を養い、男女共同参画社会の視点について考える。 【学】結婚、家族、家庭の形、家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか興味や関心を持つ。個人と社会のかかわりを理解し、主体的に生活設計できる力を養う。	1 自立と共生 2 ライフキャリア 3 共に生きる家族 大人と自分を比較し、不足している点を考える。 青年期の特徴について学ぶ。 これからに自分自身と社会の在り方を展望する。 働く意義とどのような仕事で働きたいと思うのか考える。 職業労働と家事労働の違いをまとめる。 職業生活や家庭生活における時間の使い方について考える。 家族の条件とは何か考える。 家族のライフイベントについて考える。 家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。 4 家族に関する法律 自立の基礎となる職業や家事労働について理解すると共に、日本の現状と課題について考える。 「表現」		4	【知】人の一生や個人のライフスタイルのあり方、家族・パートナーシップに関する問題、それをとりまく社会制度に関心を持ち、その充実・向上をめぐる問題に意欲的にとりくもうとする。 【思】家族やライフスタイルに関し、自らが現在または将来直面する問題を、家族や社会のあり方の変化、男女共同参画など社会的課題のなかでとらえることができる。 【主】多様化する人々の生き方、家族やパートナーシップのあり方について、主体的に考えることができる。 自らの考える生き方やパートナーシップのあり方について、現在の社会的な問題や多様性の尊重なども理解したうえで、将来の生活を想定した生活設計にいかすことができる。 多様な生き方・パートナーシップの保障、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスを踏まえた家事・職業のあり方などについて理解し、現代の家族・ライフスタイルをめぐる問題や家族法・ワークルールなどについての基礎的・基本的な知識を身につけている。		提出物	●		
							期末考査				●
							発表	●			
		6章 衣生活 【知】繊維の知識、衣生活の管理の知識を習得する。 【思】自らの衣生活をより良いものにしようとする力を養う。 【学】気候、風土、衣服の関連を学習し日本や世界の衣文化の理解を深め、環境保全対策について	1. 今何を着ている？ 2. 衣服でこんなトラブルが？ 3. 衣服は何でできている？ 衣服の選択の重要性について理解する。 健康で快適な衣生活を営むために必要な被服材料、被服管理などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。 4. 洗濯・手入れ、考えている？ 5. 衣服はどこからどこへ？ 6. 衣服を着る意味とは？ これからの衣服と持続可能な衣生活 環境負荷の少ない購入・管理・消費について問題意識を持つ。 衣服の機能と衣生活文化を理解するとともに、着想の工夫や消費行動における課題を探る。 実習 衣服修繕の実習を通して基礎的な技術を学ぶ。 「表現」		15	【知】衣生活と衣服に関心を持ち、自らの衣生活をより豊かで充実したものにするために、知識や技能の習得に意欲的にとりくもうとする。 【思】自らの衣生活について、流行と個性、環境、健康、安全などとの関係で、問題点・課題をみいだすことができる。 【主】問題点・課題の解決のために必要な、衣服の管理・廃棄の方法を判断・選択する力を身につけている。 【知】 衣服の修繕に関する実習において、基礎的な技法と縫製技術が習得できている。 【思】 衣服を着る意味、服装についての自己決定力の意味を理解し、個性豊かで健康的な衣生活を送るために必要な、衣服の材料・管理方法などについての基礎的・基本的な知識を身につけている。		提出物	●	●	●
							定期考査	●	●		
							被服実習			●	●
		第6 章 食生活をつくる 【知】先人から受け継いだ日本の食文化を知る。栄養・調理の基礎的な知識を身につけ、実践に活かせる。 【思】日本や郷土への関心や思いを深める。食生活と環境とのかかわりを考える。 【学】日本の食文化を尊重する態度を養う。世界や生産者、自然に対する理解を深める。	1. からだと心の健康をつくる食生活とは？ 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理および食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。		2	【知】【思】 食生活や食物・食品に関心を持ち、自らの食生活について、健康を維持するだけでなく、精神的な豊かさを向上させる意味もあわせもつことを理解し、そのための知識や技術の習得、改善のための考察や行動に意欲的にとりくもうとする。		提出物	●	●	●
							定期考査	●	●		
							授業態度				●
		ホームプロジェクト	「課題解決」		2	【主】個人と社会のかかわりを理解し、主体的に生活設計できる力を養うことができる。		提出物	●	●	●
							発表		●	●	
				1 学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当時間	評価規準		評価方法	【知】	【思】	【主】
		5章 食生活 【知】栄養・調理の基礎的知識を得て、実生活で実践しようとする力を養う。 【思】先人から受け継がれた日本の食文化知り、日本や郷土への関心を深め、食文化を尊重する態度を養う。	2. どれだけの栄養が必要か？ 3. 栄養素のはたらきとは？ 4. 食品をどう見分けるか？ 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理および食品衛生などの基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。		6	【知】 自らの食生活について、栄養、環境、食品の選択、経済性などの視点から、問題点・課題をみいだすことができる。 【思】 今後のよりよい食生活を営むために、上記の視点において、問題点・課題を解決する方向性をみいだすことができる。		提出物	●	●	●
						定期考査	●	●			
						調理実習		●	●		

主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	【学】食生活と環境のかかわりを考え世界や、生産者、自然に対する理解を深める。	5. 食品を扱う際に注意する点とは？ 6. 食事づくりのポイントとは？ 7. 食の安全は守られているか？ 8. 日本の食の課題とは？ 持続可能な食のために、生産者ができること 健康で安全な食生活を支える上での課題を探る。 食の安全性について理解し、問題意識を持つ。 実習 調理実習を通じて、理解を深め、技術を高める。 「課題発見」	6	【主】 調理実習において、調理のための基礎的な技術が習得できており、知識と融合させて、献立を考え、食品を選び、調理をするなどの行動ができる。 食べることの意味、栄養に関する知識が習得できており、また食品の調理上の特徴を理解している。 保存・食中毒・添加物・農薬など、食品の選択に関わる基本的な知識を身につけている。	提出物	●	●	●		
						定期考査	●	●			
						調理実習		●	●		
		2章 子ども 【知】子どもの発達・発育の基礎知識を学び、食生活・衣生活・遊びについて理解を深める。 生命を大切にすることを養う。 【思】社会の一員である子供に対して、どのように対応するか考える。	1. 子どもから何を感じる？ 2. 子どもが育つ環境はどうなっている？ 3. 子どもの育ちを支える場とは？ 4. 子どもはどのような権利を持っている？ 子どもを取り巻く環境および子育ての課題について探る。 「課題発見」	4	【知】子どもや子育てに関心をもち、子どもを取り巻く地域の人間として、あるいは将来の親として、子どもが健やかに成長するためにはどうしたらいいのかを、意欲的に考えようとする。 子育てに関する法律や制度について、問題や課題を見つけ、今後の方向性を判断することができる。 【思】子どもに関わる問題について、子どもを取り巻く環境の変化と関連させて考えることができる。	提出物	●	●	●		
						定期考査	●	●			
						授業態度			●		
		【学】親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいのなかで発達していくことを理解する	5. 子どもを育てるのにどのような支援がある？ 6. 子どもが発達するとはどういうこと？ 7. 子どもの生活で気をつけたいことは？ 8. 子どもにとっての遊びとは？ 9. 親になるとはどういうこと 子どもの発達のために家族および地域や社会の果たす役割について理解する。 子どもの生活や発達について、知識を得る。	3	【主】 子どもの生活に関連して、離乳食や衣服の特徴を考察したり、遊びに関する実習などを行い、子どもとのふれあいにいかすことができる。 親となり子どもを育てるうえで必要な条件や、親の保育責任について理解している。 子どもの身体的・精神的発達に関する知識を習得し、子どもの成育に関して理解している。	提出物	●	●	●		
						定期考査	●	●			
						授業態度			●		
		7章 住生活 【知】日本の住まいの変遷、生活様式などを理解する。和風木造住宅の空間的特徴や工夫をまとめる。 【思】安全で長く住み続けるために必要な、適切な管理方法を理解する。 【学】住空間の特徴や家族のイメージが出来る。	1. 人間と住まい 2. 住まいの文化 3. 住まいを計画する 住まいの役割および住環境などについて住まいの選択の観点から必要な基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。	2	【知】 住まいと住まい方、地域に関心をもち、自らの住生活を安全で人間らしい充実したものにするために、必要な知識・技術の取得と、改善に向けての調査・行動に意欲的にとりくもうとする。 自らの住まいと地域について、生活上の課題や住要求、健康・安全・快適性などの面から、問題点・課題をみいだすことができる。 【思】問題点・課題の解決のために必要な、住まいの選択・管理・改修の方法、地域社会への関わり方を判断する力を身につけている。	提出物	●	●	●		
				定期考査	●	●					
				授業態度			●				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	【知】安全で環境に配慮した住生活を理解し、今後の課題を探る。 【思】災害情報の入手法、安全への備えなど必要なことを考える。 【学】住環境の改善と協同の住まい方・まちづくりについて学ぶ。	4. 健康に配慮した快適な室内環境 5. 安全な住まい 6. 持続可能な住まいづくり 「課題発見」	2	【知】ひとり暮らしのための住まいの調査から、自らの住要求や住まい方との関連で間取りや立地などの問題点を読み取ることができる。 【思】住まいは生き方の基盤・表現であり、人々には様々な住要求があることを理解し、暮らしにあった住まいの種類や間取り、健康で安全・快適な住環境や地域環境についての基礎的・基本的な知識を身につけている。	定期考査	●	●			
						授業態度			●		
						提出物	●	●	●		
		3章 高齢者 4章 社会福祉 【知】個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉の重要性を理解する。 【思】将来に向けた課題に気づく。高齢者とのかかわりや心身の状況や生活を理解し、他者への敬愛の気持ちを養う。	1. 支えあって生きる 2. 共生社会を生きる 社会保障の基本的な考えや高齢者の特徴と生活を理解し、自立生活を支えるための社会等の果たす役割を学ぶ。	2	【知】 高齢期や貧困・障害についての問題、社会福祉制度について関心をもち、自らの問題として知識の取得に意欲的にとりくむとともに、それらの問題と積極的に関わる態度を身につけようとする。 【思】高齢期の問題について、ライフコースのなかで自らが将来直面することとして、高齢者の生活上や福祉の問題を考えることができる。 貧困や障害をめぐる問題について、ライフコースのなかで自らが直面する、或いは直面する可能性があることとして、生活上や社会保障・福祉の問題として考えることができる。	定期考査		●			
						授業態度			●		
		2学期期末考査			1						
		学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
		主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	【学】自助・互助・共助・公助の理解を深め、地域社会をより良くしようとする態度を身につける。ボランティア活動を理解し、興味・関心を持つ。	3. 高齢者とそれを支えるしくみはどうなっているか？ 4. 貧困とそれを支えるしくみの現状は？ 5. 障がい者の現状とそれを支えるしくみは？ 6. 福祉のあり方はどう変わっているか？ 高齢社会の現状、貧困や障害など現代社会の生活課題と社会的セーフティネットの仕組みについて学ぶ。 生涯を通して個人や家族の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。	2	高齢者や障害者、貧困状況にある人の生活に関して、その課題と福祉の状況などについて、地域での実態を調査し、問題点を把握することができる。 高齢者の多様性・可能性を踏まえ、その心身・生活の特徴や高齢社会の現状、福祉制度などを理解し、それらについての基礎的・基本的知識が身につけている。 貧困や障害者の現状、社会保障制度とその他の支援の内容を理解し、それについての基礎的・基本的知識を身につけている。 共生社会のあり方とノーマライゼーションなどの基本概念を理解し、それらについての基礎的・基本的な知識を身につけている。	提出物	●	●	●
								定期考査	●	●	
								授業態度			●
8章 消費・環境 【知】消費者としての意思決定や契約の基礎知識を学び、自立した消費者として生活する力をつける。 【思】消費行動と環境とのかかわりを学び、環境への関心を持ち、環境の保全、自然との共生について考える。	1. 私たちをとりまく消費生活はどうなっているのか？ 2. 情報化のなかでの消費生活とは？ 3. グローバル化のなかでの消費生活とは？ 消費者としての自覚と経済的な自立の必要性について理解する。 「課題発見」			6	【知】 自らの消費行動と社会との関係や消費者情報に関心をもち、社会的影響や環境への負荷などに配慮しながら、主体的で責任ある消費行動をとろうとする。 【思】自らの生活や消費行動の環境への影響に関心をもち、持続可能な社会に向けて主体的で責任ある行動をとろうとする。	提出物	●	●	●		
						定期考査	●	●			
						授業態度			●		
【学】持続可能な社会に向けて主体的に取り組もうとする。	4. 自立した生活に必要なお金の管理とは？ 5. 「金融自由化」のなかでのお金の管理とは？ 6. 「商品を買う」とはどういうこと？ 7. 消費の際に巻きこまれるトラブルとは？ 消費経済の仕組みについて理解すると共に自立した消費者となることの重要性を認識する。 「課題発見」			4	【主】自らの消費行動のなかでの問題点や家計管理のポイントや、社会や環境との関わりも含め、みつめることができる。 問題点の解決のために、情報の選択・発信や購入の選択など、自ら主体的に判断し意思決定できる力を身につけている。また、経済生活を円滑に行う力をつけている。 自らの生活や消費行動のなかでの問題点や課題を、環境との関わりでみつめることができる。 問題点の解決のために、情報の選択・発信、購入の選択、さらにライフスタイル変換へ向けての努力など、自ら主体的に判断し意思決定できる力を身につけている。	提出物	●	●	●		
						定期考査	●	●			
						授業態度			●		
8章 消費・環境 【知】家庭経済・国民経済の仕組みを理解し、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。家庭の収入や支出、予算生活の必要性を理解する。 【思】家庭の収入・支出・預金などについて、適切に考え判断できる。 【学】自分の経済的自立を考える。家庭経済、国民経済の仕組みや家計の特徴について積極的に理解しようとする。短期、長期の経済計画について意欲的に取り組もうとする。 生活設計	8. 消費者トラブルに立ち向かうためには？ 9. 消費者としての自立とは？ 10. 環境と公正を考えた消費とは？ 消費者の権利と責任について理解し、今後の消費生活の課題を探る。 環境に配慮した消費生活について自ら考え、行動する力を養う。 「課題発見」			5	【知】 消費をめぐるトラブルに直面した場合、社会的な手段も利用しながら、それを解決する方法を身につけている。 【思】 家計管理ソフト・家計簿などを使って、家計の全体像や問題点などを把握し、それを改善・向上させる方法を身につけている。自然観察や農山漁村体験などを通じて、自然環境やそれと結びついた伝統的な生活の意味を理解し、それを実際の生活にいかすことができる。 【主】 消費者市民社会における消費者の権利と役割、家庭経済、消費と環境との関わりなどについて理解し、消費者問題と契約・販売方法、消費者政策と消費者運動、家計の構造などについての基礎的・基本的な知識を身につけている。 持続可能な社会へ向けての課題と環境問題について理解し、大量生産・消費社会と環境、日常的な消費のあり方と環境の関係についての基礎的・基本的な知識を身につけている。	提出物	●	●	●		
				定期考査	●	●					
				授業態度			●				
3学期期末考査			1								

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		外国語（英語）	科目名	英語コミュニケーションⅡ				対象 学年	2 年	単位数	4単位	観点別評価			
使用教科書		「Element English CommunicationⅡ」（啓林館）							教科 担当	A組：残間 紀美子 B組：残間 紀美子 C組：残間 紀美子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「Elementワークブック」（啓林館） 「Cutting Edge Blue」（エミル出版） 「共通テストリスニング」（エミル出版） 「英文法・語法 Vintage 4th Edition」（いっずな書店） 「大学入試 肘井学の 読解のための英文法が面白いほどわかる本」（中経出版/KADOKAWA）													
教科の目標		【知識及び技能】外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。													
科目の目標		【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。目的に応じ日常的、社会的な話題等の内容を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】目的に応じ、日常的、社会的な話題等について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いようとしている。													
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当 時間	評価規準	評価方法				
				聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ～ 3 週 ）	Lesson 1 Cultures around the World 異なる文化を持つ人同士の会話を聞いて【学】、 概要や詳細を聞き取る。【知】【思】 The Culture Mapを読んで概要や詳細を理解し【思】、 情報を事実と意見に整理し、表現する【知】【思】【学】。	文化の違いについての説明文を読み、 内容についてリテリングを行う。 日本の習慣について質問したり、答えたりする。 日本への海外留学生との異文化交流について書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	11	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物 プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
											授業態度		●	●	
		Lesson 2 Power of Words 将来になりたい職業などについての会話を聞いて【学】、 概要や詳細を聞き取る。 【知】【思】 Stay Hungry, Stay Foolishを読んで【学】 概要や詳細を理解し【知】【思】、 行間を読む。【思】【学】	生き方についてのスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。 困っている友人を、英語のことわざなどを使って励ます。 スピーチを読んで、これまでに心に残ったことば・励みになったことばについて書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	12	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物 プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
											授業態度		●	●	
		1 学期中間考査							1						
		Lesson 3 Preconception 思い込みについての会話を聞き【学】、 概要や詳細を聞き取る。【知】【思】 How Did Pink Become a “Girl’ s Color” in America?を読んで【学】 概要や詳細を理解し【知】【思】、 情報を事実と意見に整理する。【思】	付帯状況のwith, the＋比較級～、the＋比較級…を用いた文の構造を理解する。 ジェンダーについての説明文を読み、 内容についてリテリングを行う。 ジェンダーに対する先入観について話し合う。 文化祭に関するルールについて書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	11	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物 プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
											授業態度		●	●	
		Further Reading 1 The True Story of the Bear behind Winnie-the-Pooh 子グマと軍人のふれあいを描いた物語を読み【学】、 概要や詳細を理解する。【知】【思】	既習事項を含んだ英文を読み、内容を理解し、リテリングする。 「表現」	●		●	●		6	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物 プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
											授業態度		●	●	
		Communication in Practice 1 国際幸せの日についてのウェブサイトを読み【学】、 要点を理解する。【知】【思】	国際幸せの日についてのウェブサイトを読み、要点を理解する。 自分の選んだ、幸せになる（周りの人を幸せにする）方法について話し合う。 自分の考える幸せのイメージについて、説明を書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●		●	●		10	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物 プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
											授業態度		●	●	
		1 学期期末考査							1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				聞	読	話（や）	話（発）	書						
主な学習内容と授業時数	2学期（1・3週）	Lesson 4 The Century of War 戦時中の曾祖父についての会話を聞いて【学】，概要や詳細を理解する。【知】【思】 Life in a Jarを読んで【学】，概要や詳細を理解し【知】，行間を読む。【思】	戦争中の出来事について読み内容についてリテリングを行う。世界の紛争と子どもたちについて発表する。 世界の紛争について，グラフや図表を読み取りながらやり取りする。 物語文を読んで，それをもとに演劇の台本を書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	11	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●
										プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
										授業態度		●	●	
		Lesson 5 How Our Minds Work 私たちの心理がどのように働くのかについて概要や詳細を理解する【思】。 Predictably Irrationalを読んで【学】 概要や詳細を理解し，【知】【思】情報を事実と意見に整理する。【知】【思】	人間の心理と行動についての説明文を読み内容についてリテリングする。 心理学的事象について，例を示しながら説明する。 経験のある心理学的事象について伝え合う。説明文を読んで自分の考えを書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	12	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●
										プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
										授業態度		●	●	
		2学期中間考査							1					
		Lesson 6 IT and Life バス停や空港での会話やアナウンスを聞いて【学】，必要な情報や概要を理解する。【知】【思】 A Long Way Homeを読んで【学】 概要や詳細を理解し【知】【思】，行間を読む。【思】	ITの発展が1人の青年の人生にもたらした影響についての物語文を読み，その内容についてリテリングを行う。 将来就きたい職業について伝え合う。 オンライン授業の是非について，自分の考えを書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	11	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●
										プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
										授業態度		●	●	
		Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise 子ども図書館の発展に尽力した女性についての物語文を読み【学】 概要や詳細を理解する。【知】【思】	既習事項を含んだ英文を読み、内容を理解し、リテリングする。 「表現」		●		●	●	6	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●
										プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
										授業態度		●	●	
		Communication in Practice 2 自動運転車に対する賛成・反対の意見を読み【学】，要点を理解する。【知】【思】	自動運転車に対する賛成・反対の意見を読み，要点を理解する。 自動運転車とそうでない車のどちらを利用したいかなどについて話し合う。 AIやロボットの活用などについて，賛成・反対の意見や質問をSNSに書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」		●		●	●	10	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●
										プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
										授業態度		●	●	
	2学期期末考査							1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】		
				聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書								
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	Lesson 7 Advances in Medical Technology 体調不良の際の，病院や医師との会話を聞いて【学】，必要な情報を理解する。【知】【思】 Putting iPS Cells into Practiceを読んで【学】 概要や詳細を理解し【知】，情報を事実と意見に整理する。【思】	医療技術の進歩と発展についての説明文を読み内容をリテリングする。 病気の症状やその対処法について話し合う。 満たされた人生のためにすべきこと，必要なことについて，自分の考えを書く。 「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	12	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●		
											プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●		
												授業態度		●	●	
		Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact オンライン上での友人との会話や出来事の順番を理解する。【知】【思】 How We Got to Now with Glassを読んで【学】 概要や詳細を理解し【知】【思】，情報を事実と意見に整理する。【知】【思】	whatを用いた強調，複合関係副詞を用いた文の構造を理解する。 技術革新のつながりについての説明文を読み，その内容についてリテリングを行う。携帯電話の機能や問題点について説明したり，答えたりする。 自分を変えた経験について書く。「表現」「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	12	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●		
												プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
													授業態度		●	●
		Further Reading 3 Moufflon-The Dog of Florence 少年と犬の絆と家族の愛情についての物語文を読み【学】，概要や詳細を理解する。【知】【思】	既習事項を含んだ英文を読み、内容を理解し、リテリングする。 「表現」「課題発見」「課題解決」		●		●	●	6	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●		
													プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●
														授業態度		●
		Communication in Practice 3 宇宙センターの説明を聞き【学】，必要な情報を理解する。【知】【思】	宇宙センターの説明を聞き，必要な情報を理解する。ワークショップの説明文を読み，状況を理解する。 宇宙でのサバイバルに必要な道具について，優先順位を発表する。 ワークショップで，宇宙でのサバイバルに必要な道具の優先順位についてチームで話し合う。 「表現」「課題発見」「課題解決」		●		●	●	6	【知】 英語の特徴的な音声聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物	●	●	●		
													プレゼン、スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●
														授業態度		●
		3学期期末考査								1						

教科		外国語（英語）		科目名		論理・表現Ⅱ				対象学年	2 年		単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		EARTRISE English Logic & ExpressionⅡ （数研出版）										教科担当	A組：長沼 雅子、平山 たみ子、 千葉 祐二、黒崎 良一 B組：長沼 雅子、平山 たみ子、 千葉 祐二、黒崎 良一 C組：上田 みつ子、平山 たみ子、 千葉 祐二、黒崎 良一			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		EARTHRISE 英語総合演習(数研出版)																
教科の目標		【知識及び技能】外国語のの学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。																
科目の目標		【知識及び技能】学習した内容を活用し適切に使うことができる。学習した内容を活用し、論理の構成や展開を工夫して、詳細を交えつつ、1つまたは複数の段落からなる文章を書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】教科書のタスク活動と学習した内容を通して、適切に、発表、やりとり、書くこと、ディベートなどができる。日常的な話題や社会的な話題に関して、相手の意見を踏まえて、伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】間違うことを恐れず活動し、うまく表現できないことがあっても言い換えるなどして、コミュニケーションを図ろうとしている。相手や、相手のメッセージを踏まえて、積極的に伝えようとしている。																
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		領域				配当時間	評価規準		評価方法					
1 学 期 （ 1 3 週）		Lesson 1 How interesting Japanese Culture is! 【知】 ・動詞の現在形・現在完了形・過去完了形の用法・意味を理解している。 【思】 制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。		さまざまな時を表す 「課題解決」「表現」							4	【知】 ・動詞の現在形・現在完了形・過去完了形の用法・意味を理解している。 【思】 制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【主】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト			●	●	

Lesson 6 Where do you usually buy clothes? 【知】 ・関係代名詞who, which・関係副詞whyの用法・意味を理解している。 【思】 自分がほしい服などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	人・物 時や場所などについて説明する 「課題発見」「課題解決」							4	【知】 ・関係代名詞who, which・関係副詞whyの用法・意味を理解している。 【思】 自分がほしい服などについて、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●
1 学期期末考査									1				
単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
		聞	読	話「や」	話「発」	書							
Lesson 7 What kind of books do you like best? 【知】 ・形容詞、副詞の比較級、最上級・〈A …比較級+than any other B〉の用法・意味を理解している。 【思】 自分が好きな本のジャンルや最も印象に残っている本について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	比較を表す 「課題発見」「課題解決」「表現」							4	【知】 ・形容詞、副詞の比較級、最上級・〈A …比較級+than any other B〉の用法・意味を理解している。 【思】 自分が好きな本のジャンルや最も印象に残っている本について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●
Lesson 8 Inventions that changed the way we live 【知】 ・仮定法過去・仮定法過去完了・〈I wish+S'+過去形〉の用法・意味を理解している。 【思】 私たちの生活を大きく変えた発明について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	仮定を表す 「課題発見」「表現」							4	【知】 ・仮定法過去・仮定法過去完了・〈I wish+S'+過去形〉の用法・意味を理解している。 【思】 私たちの生活を大きく変えた発明について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●
Lesson 1 Can you come to our party? 【知】 ・「感謝する」「謝罪する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 読み手である友人に誠意が伝わるように、誘われた誕生日パーティーに急きょ行けなくなった旨を謝罪するメール文を、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 「あなたはできるだけ多くの友だちをもととすべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	感謝する／謝罪する 「課題発見」「表現」							4	【知】 ・「感謝する」「謝罪する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 読み手である友人に誠意が伝わるように、誘われた誕生日パーティーに急きょ行けなくなった旨を謝罪するメール文を、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 「あなたはできるだけ多くの友だちをもととすべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●
2 学期中間考査									1				
Lesson 2 I'm sure you can make it! 【知】 ・「心配を述べる／励ます／感想を述べる」表現の用法・意味を理解している。 【思】 スピーチコンテストで優勝した友だちに、そのスピーチの感想をわかりやすく伝えるために、自分が見たり聞いたり感じたりしたことをもとに、論理の構成や展開を工夫してテキストメッセージを書いている。 「あなたが海外から来た人に説明することができる伝統的な日本の文化的活動を選びなさい」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	心配を述べる／励ます／感想を述べる 「課題発見」「課題解決」							4	Lesson 2 I'm sure you can make it! 【知】 ・「心配を述べる／励ます／感想を述べる」表現の用法・意味を理解している。 【思】 スピーチコンテストで優勝した友だちに、そのスピーチの感想をわかりやすく伝えるために、自分が見たり聞いたり感じたりしたことをもとに、論理の構成や展開を工夫してテキストメッセージを書いている。 「あなたが海外から来た人に説明することができる伝統的な日本の文化的活動を選びなさい」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●
Lesson 3 How about trying this food? 【知】 ・「提案する／勧誘する／好みを述べる」表現の用法・意味を理解している。 【思】 外国人の友だちに日本のお勧めの食べ物を紹介するために、自分が見たり聞いたりして知っていることをもとに、論理の構成や展開を工夫してメール文を書いて伝えている。 「食品廃棄を減らすために私たちに何ができるか」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	提案する／勧誘する／好みを述べる 「課題発見」「課題解決」							4	【知】 ・「提案する／勧誘する／好みを述べる」表現の用法・意味を理解している。 【思】 外国人の友だちに日本のお勧めの食べ物を紹介するために、自分が見たり聞いたりして知っていることをもとに、論理の構成や展開を工夫してメール文を書いて伝えている。 「食品廃棄を減らすために私たちに何ができるか」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●
Lesson 4 Tips for staying healthy 【知】 ・「助言する／忠告する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 健康を維持するためのアドバイスをするために、自分が見たり聞いたりして知っていることをもとに、論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えている。 「救急車の利用にお金を払うべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	助言する／忠告する 「課題発見」「課題解決」							4	【知】 ・「助言する／忠告する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 健康を維持するためのアドバイスをするために、自分が見たり聞いたりして知っていることをもとに、論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えている。 「救急車の利用にお金を払うべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
										パフォーマンステスト	●	●	●
										授業態度			●

3 学 期 （ 9 週 ）		Lesson 5 I’ m taking part in some volunteer activities tomorrow 【知】 「依頼する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 「学校は生徒にボランティア活動をするように促すべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	依頼する 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	4	【知】 「依頼する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 「学校は生徒にボランティア活動をするように促すべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
											パフォーマンステスト	●	●	●
											授業態度			●
		2学期期末考査								1				
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				聞	読	話「や」	話「発」	書						
		Lesson 6 Where would you like to live in the future? 【知】 「賛成する／反対する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 外国に住むことについての他者の意見に対して、賛成もしくは反対の意見を表すために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 「子供は田舎で育てられるべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。	賛成する／反対する 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	4	【知】 「賛成する／反対する」表現の用法・意味を理解している。 【思】 外国に住むことについての他者の意見に対して、賛成もしくは反対の意見を表すために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 「子供は田舎で育てられるべきだ」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
											パフォーマンステスト	●	●	●
											授業態度			●
		Lesson 7 Which candidate is the right person? 【知】 時間的順序・手順の表現の仕方について理解し、英文を作ることができる。 【思】 「勉強の仕方」についてディベートやディスカッションすることができる。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	意見を求める／意見を述べるや情報を具体例などと共に伝え合う。 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	4	【知】 時間的順序・手順の表現の仕方について理解し、英文を作ることができる。 【思】 「勉強の仕方」についてディベートやディスカッションすることができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
											パフォーマンステスト	●	●	●
											授業態度			●
		Further Activity パラグラフの構成1,2 【知】 〈例示・列挙〉〈比較・対照〉のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】 読み手によく理解してもらえるように、英語学習の重要性、高校の教室でスマートフォンの使用が許されるべきかどうかについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	例示・列挙 比較・対照 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	4	【知】 〈例示・列挙〉〈比較・対照〉のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】 読み手によく理解してもらえるように、英語学習の重要性、高校の教室でスマートフォンの使用が許されるべきかどうかについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	
											エッセイ	●	●	●
											授業態度			●
		Further Activity パラグラフの構成3,4 【知】 〈原因・結果〉〈時間的手順・手順〉のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】 ・読み手によく理解してもらえるように、2つのうちどちらの宿泊先がよいか、どのようにテストのための準備をするかについて、について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	原因・結果 時間的順序・手順 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	5	【知】 〈原因・結果〉〈時間的手順・手順〉のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】 ・読み手によく理解してもらえるように、2つのうちどちらの宿泊先がよいか、どのようにテストのための準備をするかについて、について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	確認テスト	●	●	●
											エッセイ		●	●
											授業態度			●
		3学期期末考査								1				

令和6年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		理数	科目名	理数探究（富士未来学）		対象 学年	2年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書							教科 担当	残間 紀美子、浮葉 翔、西村 猛、鈴木 晃、関 登、白樫 知樹、今福 航、末安 光理、松浦 大樹、佐竹 綾、阿江 伸也			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「本校独自テキスト」											
教科の目標		【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。											
科目の目標		【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。											
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法					
主な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	富士未来学Vガイダンス 【知】富士未来学Vガイダンスで学習した内容を理解している。1年間の探究活動の見通しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。 【学】挑戦力を働かせて富士未来学Vガイダンスに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	富士未来学の内容を知る。 探究に必要な力を学ぶ。		1	【知】富士未来学VIガイダンスで学習した内容を理解している。1年間の探究活動の見通しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。 【主】挑戦力を働かせて富士未来学Vガイダンスに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。		ワークシート				●	
								到達度確認シート	●				
		質問紙講座Ⅱ 【知】質問紙講座Ⅱで学習した内容を理解している。 【思】研究倫理に配慮しながら、質問紙を作成することができる。 【学】挑戦力を働かせて質問紙講座Ⅱに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	質問紙の作成方法を学ぶ。		1	【知】質問紙講座Ⅱで学習した内容を理解している。 【思】研究倫理に配慮しながら、質問紙を作成することができる。 【主】挑戦力を働かせて質問紙講座Ⅱに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。		ワークシート				●	
								到達度確認シート	●				
		統計分析講座 【知】統計分析講座で学習した内容を理解している。 【思】2変量の関係に着目し、相関関係を調べたり、回帰分析を行ったりすることができる。統計に関する諸定理や法則を学び、推測統計の考え方を理解し、無相関検定や対応のあるt検定、適合度の検定、独立性の検定を行うことができる。 【学】挑戦力を働かせて統計分析講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	データを統計的に分析する方法を学ぶ。		4	【知】統計分析講座で学習した内容を理解している。 【思】2変量の関係に着目し、相関関係を調べたり、回帰分析を行ったりすることができる。統計に関する諸定理や法則を学び、推測統計の考え方を理解し、無相関検定や対応のあるt検定、適合度の検定、独立性の検定を行うことができる。 【主】挑戦力を働かせて統計分析講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。		ワークシート				●	
								到達度確認シート	●				
								課題					●
		個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みようとしている。	昨年度に引き続き、ラボごとでの活動を行い、課題研究を行う。		9	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。		ワークシート					●
								到達度確認シート	●				
								課題					●
		探究発表会 【知】探究発表会で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参画者として質疑応答する活動をおいて、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。 【学】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	中間発表会で発表者として発表を行い、他学年の発表を聴き、質問者として質問を行う。		10	【知】探究発表会で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参画者として質疑応答する活動をおいて、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。 【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。		ワークシート					● ●
								ポスター					● ●
								到達度確認シート	●				
		1学期期末考査			1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	研究計画書講座 【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。 【学】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	高校1年生と合同で行い、高校1年生の課題研究の計画に、自身の経験を活かして助言を行う。	2	【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。 【主】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート		●	●
						到達度確認シート	●		
						課題		●	
		アカデミック・ライティング講座Ⅰ 【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学における論文の構成を理解し、自己の課題研究を論文（日本語）にまとめることができる。探究の過程で記録した文章を基に、他社に伝えるべき内容を論理的に整理し、適切な表現方法でまとめることができる。 【学】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	英語論文作成のための方法を学ぶ。	3	【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。 【主】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート		●	●
						到達度確認シート	●		
						課題		●	●
		個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する。	7	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	ワークシート			●
						到達度確認シート	●		
						課題	●	●	
		個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する。	13	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	ワークシート			●
						到達度確認シート	●		
						課題	●	●	
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する。	9	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。	ワークシート			●
						到達度確認シート	●		
						課題	●		●
		探究発表会 【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。 【学】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	学年内でポスター発表を行う。その課題を改善したうえで、全学年で行う中間報告会での発表を行う。その結果をもとにポスターの改善を行い、次年度の研究の目標を定める。また、全学年での発表では質問者として後輩の研究への助言を送る。	8	【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。 【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。 【主】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。	ワークシート		●	●
						ポスター		●	●
						到達度確認シート	●		
		3学期期末考査		1					

教科		数学	科目名		数学演習	対象 学年	2 年	単位数	1 単位	観点別評価		
使用教科書		「リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C〔ベクトル〕」（数研出版）				教科 担当	A組：富田 進 B組：富田 進 C組：富田 進		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材												
教科の目標		【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。										
科目の目標		【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。										
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期	数学Ⅰの全般的な演習 【知】数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念を体系的に理解し、数学的に表現する力を身につけるようにする。 【思】数や式を多面的に見たりする力、事象を的確に表現してその特徴を式やグラフに関連付けて考察する力を養う。 【学】粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める力を養う。	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析 「課題解決」「課題発見」「表現」		17	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】自ら変数を設定して処理をしたり、数式やグラフを用いて説明したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		レポート課題	●	●	●	
					単元テスト			●	●	●		
					定期考査			●	●	●		
			数学Aの全般的な演習 【知】図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。 【思】確率の意味や基本的な法則や平面図形の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用する。 【学】粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める力を養う。	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質 「課題解決」「課題発見」「表現」		17	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察することができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		レポート課題	●	●	●
					単元テスト	●			●	●		
					定期考査	●			●	●		
			3学期期末考査			1						

教科		理科	科目名			S S マテリアル理論		対象 学年	2 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		「化学　academia」　（実教出版）						教科 担当	A 組：関　登 B 組：関　登 C 組：関　登			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「リードα 化学基礎＋化学」　（数研出版） 「スクエア最新図説化学」　（第一学習社）													
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験等に関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】様々な物質について観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。													
科目の目標		【知識及び技能】化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。													
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	無機物質 【知】「周期表」で元素が大きく金属と非金属または典型元素と遷移元素に分類されることを知る。 【思】元素分類の観点より、ある元素がどちらに分類されているのか、類似性と特異性を考察できるようにする。 【学】多数の元素の周期表上での位置を学び各元素の特性に関心を持ち、その性質に関心を持てるようにする。		周期表 元素の分類 同族元素、陽性と陰性 「課題発見」「表現」 元素と物質 元素と物質の性質 「課題発見」「課題解決」		4	【知】「周期表」の概念と、多数の元素の分類の観点についての知識を身に着けている。 【思】元素分類の観点について理解し、分類の基準が結合の種類・元素の陰性・陽性であることを理解し、自分で判断できる。 【主】周期表に関心を持ち、その見方使い方に関心を持って授業に臨むことができる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		【知】非金属の一般的な性質について学び金属との違いを理解させる。 【思】非金属元素は全て「典型元素」であり、その「同族性」について既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の非金属元素の周期表上での位置を学び各元素の特性に関心を持ち考察できるようにする。		非金属元素 水素と希ガス ハロゲンとその化合物 「課題発見」 生命体を構成する元素 「課題解決」「表現」		8	【知】様々な非金属について、実際に実験を通して性質について学び、金属との相違点を説明できる。 【思】非金属元素の単体・化合物の性質や反応について理解し「典型元素」の「同族性」について実験等を通して学び、既習事項から考察できる。 【主】多数の非金属元素の特性に関心を持ち探究できる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		1 学期中間考査						1							
		【知】金属の一般的な性質について学び、非金属との違いを理解させる。 【思】金属元素には「典型金属元素」と「遷移金属」があり、その類似性・相違性を既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の金属元素の周期表上での位置や利用について学び、その特性に関心を持ち考察できるようにする。		金属元素 典型金属(アルカリ金属とアルカリ土類金属) 両性金属 「課題発見」 遷移金属元素(身近に使われている金属) 金属イオンの分離 「課題解決」「表現」		10	【知】実験を通して金属の一般的な性質について学び、非金属との違いを理解できている。 【思】金属元素の単体・化合物の性質や反応について理解し「典型金属元素」と「遷移金属」の類似性・相違性を既習事項から考察できる。 【主】多数の金属元素の利用について関心を持ち考察できるようにする。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		【知】無機化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】無機化合物には金属、非金属、その化合物があることを理解し、その類似性・相違性を既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の無機化合物の利用について学び、その特性に関心を持ち考察できるようにする。		無機化合物まとめ 典型金属(アルカリ金属とアルカリ土類金属) 両性金属 遷移金属元素(身近に使われている金属) 金属イオンの分離 「課題発見」「課題解決」「表現」		2	【知】無機物質がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解できている。 【思】無機物質の特徴をその単体・化合物の性質や反応をとおして理解し考察できる。 【主】多数の金無機化合物の身近な利用について関心を持ち考察できる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		1 学期期末考査						1							
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】		
主 な 学 習 内 容 と 授 業	2 学 期 （ 1 3 週 ）	有機化合物 【知】有機化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】有機化合物の分類、特徴を理解し、さらに分析を既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の有機化合物の利用について関心を持ち考察できるようにする。		有機化合物の特徴と分類 有機化合物の特徴 有機化合物の分類（結合、構造、官能基） 異性体 「課題発見」「課題解決」「表現」		2	有機化合物 【知】有機化合物の一般的な性質について学び、理解できている。 【思】有機化合物の分類、特徴を理解し、さらに分析を既習事項から考察できる。 【主】多数の有機化合物の利用について関心を持ち考察できる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		【知】脂肪族有機化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】脂肪族化合物の分類、特徴を理解し、既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の脂肪族有機化合物の利用について関心を持ち考察できるようにする。		脂肪族化合物 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 「課題発見」「課題解決」「表現」		4	【知】脂肪族有機化合物の一般的な性質や反応を構造と関連して理解している。 【思】脂肪族化合物の分類、特徴を理解し、既習事項から考察できる。 【主】多数の脂肪族有機化合物の利用について関心を持ち考察できる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		【知】酸素を含む有機化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】酸素を含む化合物の分類、特徴を理解し既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の酸素を含む有機化合物の利用、特に日常生活や生命に関連している物質について関心を持ち考察できるようにする。		酸素を含む脂肪族化合物 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸とエステル（油脂） 「課題発見」「課題解決」「表現」		6	【知】酸素を含む有機化合物の一般的な性質や反応について理解している。 【思】酸素を含む化合物の分類、特徴を理解し既習事項から考察できる。 【主】多数の酸素を含む有機化合物の利用、特に日常生活や生命に関連している物質について関心を持ち考察できる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				
		2 学期中間考査						1							
		有機化合物 【知】有機化合物の一般的な分析について学び、理解させる。 【思】有機化合物の元素分析を既習事項から考察できるようにする。分析結果から構造の推定ができることを理解し考察できるようにする。 【学】有機化合物の分析について関心を持ち考察できるようにする。		構造式の決定 有機化合物の分析 成分元素の決定 組成式の決定 分子式及び構造式の決定 「課題発見」「課題解決」「表現」		2	【知】有機化合物の一般的な分析について学び、理解している。 【思】有機化合物の元素分析を既習事項から考察できるようにする。分析結果から構造の推定ができることを理解し考察できる。 【主】有機化合物の分析について関心を持ち考察できる。		定期考査		●	●			
									提出物			●	●		
									小テスト		●				

時 数		【知】芳香族有機化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】芳香族化合物の分類、特徴を理解し、既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の芳香族有機化合物の利用について関心を持ち考察できるようにする。	芳香族化合物 芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物 「課題発見」「課題解決」「表現」	8	【知】芳香族有機化合物の一般的な性質について学び、理解している。 【思】芳香族化合物の分類、特徴を理解し、既習事項から考察できる。 【主】多数の芳香族有機化合物の利用について関心を持ち考察できる。	定期考査	●	●	
						提出物		●	●
						小テスト	●		
		【知】有機化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】有機化合物の分類には構造や結合、官能基によるものなどがあり、その化合物の類似性・相違性を既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の有機化合物の利用について学び、その特性に関心を持ち考察できるようにする。	有機化合物と人間生活 有機化合物の利用 身近な有機化合物 「課題発見」「課題解決」「表現」	2	まとめ 【知】有機化合物の一般的な性質について学び、理解している。 【思】有機化合物の分類には構造や結合、官能基によるものなどがあり、その化合物の類似性・相違性を既習事項から考察できる。 【主】多数の有機化合物の利用について学び、その特性に関心を持ち考察できる。	定期考査	●	●	
						提出物		●	●
						小テスト	●		
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	高分子化合物 【知】高分子化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】高分子化合物の分類、特徴を理解し、さらに分析を既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の高分子化合物の利用について関心を持ち考察できるようにする。	合成高分子化合物 高分子化合物の分類と特徴 「課題発見」「課題解決」「表現」	8	【知】高分子化合物の一般的な性質について学び、理解している。 【思】高分子化合物の分類、特徴を理解し、さらに合成や構造を既習事項から考察できる。 【主】多数の高分子化合物の利用について関心を持ち考察できる。	定期考査	●	●	
						提出物		●	●
						小テスト	●		
		【知】天然高分子の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】天然高分子の分類、特徴を理解し、既習事項から考察できるようにする。 【学】多糖やタンパク質の利用について関心を持ち考察できるようにする。	天然高分子化合物 糖と多糖類 アミノ酸とタンパク質、核酸 「課題発見」「課題解決」「表現」	7	【知】天然高分子の一般的な性質について学び、理解している。 【思】天然高分子の分類、特徴、構造などをを理解し、既習事項から考察できる。 【主】多糖やタンパク質の利用について関心を持ち考察できる。	定期考査	●	●	
						提出物		●	●
						小テスト	●		
		【知】高分子化合物の一般的な性質について学び、理解させる。 【思】高分子化合物の分類には構造や結合、官能基によるものなどがあり、その化合物の類似性・相違性を既習事項から考察できるようにする。 【学】多数の高分子化合物の利用について学び、その特性に関心を持ち考察できるようにする。	高分子化合物と人間生活 「課題発見」「課題解決」「表現」	2	【知】高分子化合物の一般的な性質について学び、理解している。 【思】高分子化合物の分類には構造や結合、官能基によるものなどがあり、その化合物の類似性・相違性を既習事項から考察できる。 【学】多数の高分子化合物の利用について学び、その特性に関心を持ち考察できる。	定期考査	●	●	
						提出物		●	●
						小テスト	●		
		3学期期末考査		1					